

施工説明書



ディーズパティオ

このたびは Dea's Garden 製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
正しく取付けをして頂くために、取付説明書をよくお読みください。

ディーズパティオは、本体となるウォールと、オプションアイテムから成る商品です。下記のチャート図に従い、取付けるアイテムや施工方法によって必要なページを参照してください。この他のオプションの取付けに関しては、それぞれの取付説明書を参照してください。

共通項目 (必読)	A 施工上の注意 B 各種寸法図、梱包明細表 ・製品寸法図 ・アイテム取付位置図、アイテムの取付けについて ・配線用穴位置図、配線時の施工について
ウォール・フェンスの施工	C ベースポールの取付け → D ウォールの単独での施工、角柱の施工 → E ウォールの連続での施工（ジョイント部材を使用した施工） → E-1 ウォールティンバーAを使用した施工 → E-2 シェルフティンバーAを使用した施工 → E-2-1 シェルフティンバーAのみを使用した施工 → E-2-2 シェルフティンバーAとスリットフェンスAショートタイプを併用した施工 → E-3 スリットフェンスAを使用した施工 → F サイドフェンスAを取付ける場合の施工
各ウォールの組立	G ウォールBへの窓台の取付け  ウォールB H ウォールCへの窓台、ガラスの取付け  ウォールC I ウォールDへの扉の取付け  ウォールD
基礎参考図	J 隣地境界への施工について K ウォールの足元に植栽する場合の施工について

A 施工上の注意

A



〈施工される前に〉

- ◆製品の組立には危険を伴いますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ◆組み付け前に仮組みを行い、製品に問題の無いことを確認してください。

〈施工上のご注意〉

- ◆取付けが不十分だと、使用中にはずれたり、転倒したりする恐れがあります。
この取付説明書に従い確実に固定してください。
- ◆コンクリートの養生は十分に行ってください。
- ◆製品表面に付着したコンクリートは速やかに除去してください。
- ◆施工の際には手袋を着用してください。
- ◆強風時等、周囲の安全が確保できない場合は、危険ですので施工しないでください。
- ◆施工中についた汚れはすぐに拭き取ってください。キズが付いた場合などは、
別売の補修材で補修してください。
- ◆ディーズパティオのウォールは、フィルムが巻かれた状態で梱包されています。
汚れ防止のため、埋め込みの際はフィルムは剥がさずに施工し、
コンクリートが硬化してから壁を傷つけないように丁寧に剥がしてください。

〈使用工具等〉

共通 基礎ブロック、抜け止め用鉄筋、添え木、当て布、コンクリート打設用品、PF管（配線時）

C ベースポールの取付け…レンチ径10

E-1 ウォールティンバーAを使用した施工…+ドライバー、電動ドリル、ドリル径 $\phi 4.2$ 、 $\phi 6$

E-2-1 シェルフティンバーAのみを使用した施工…+ドライバー、電動ドリル、ドリル径 $\phi 4.2$ 、 $\phi 6$

E-2-2 シェルフティンバーAとスリットフェンスAショートタイプを使用した施工
…+ドライバー、電動ドリル、ドリル径 $\phi 3.2$ 、 $\phi 4.2$ 、 $\phi 6$ 、六角レンチ（製品に付属）

E-3 スリットフェンスAを使用した施工…+ドライバー、電動ドリル、ドリル径 $\phi 3.2$ 、六角レンチ（製品に付属）

F サイドフェンスを使用した施工…+ドライバー、電動ドリル、ドリル径 $\phi 4.2$ 、 $\phi 6$

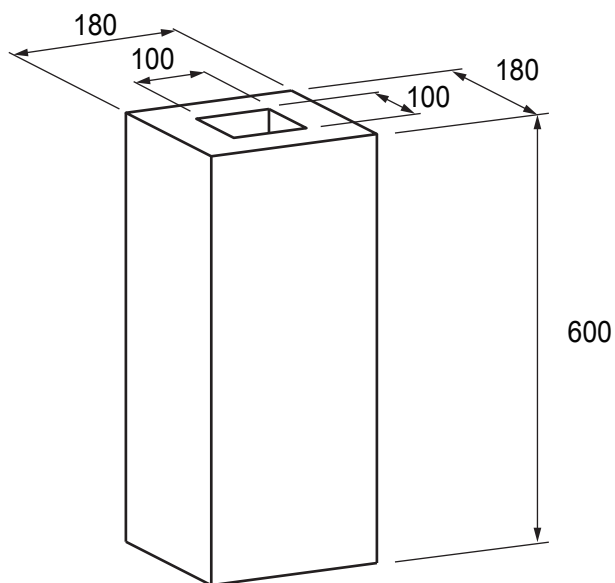
G ウォールBへの窓台の取付け…+ドライバー

H ウォールCへの窓台の取付け…+ドライバー

I ウォールDへの扉の取付け…+ドライバー、六角レンチ（製品に付属）

◆ウォールの施工には、フェンス用基礎ブロックの使用をおすすめしています。

推奨基礎ブロック寸法
（目安）



B 各種寸法図・梱包明細表

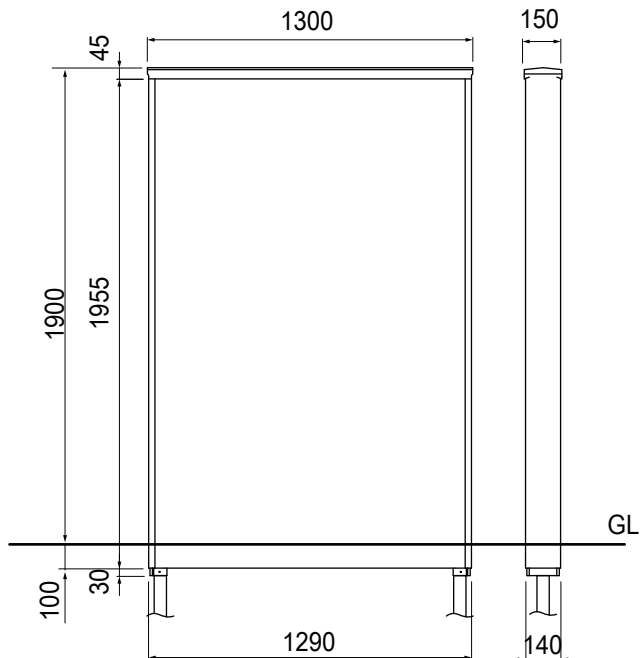
- ・開梱時に部品の種類と数量をご確認ください。
- ・商品に異常がないことをご確認ください。

■製品寸法（単位：mm）

■梱包明細

B

ウォールA



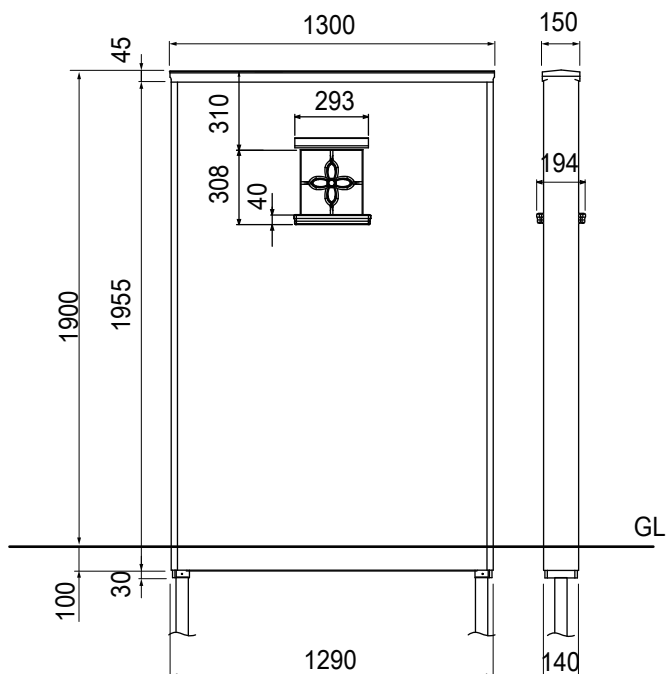
ウォールA [DPAB101]

名 称	数 量
ウォール本体	1

ベースポールセットA [DPAP01A]

名 称	数 量
ベースポールA	2
M6×75六角ボルト	2
M6平ワッシャー	4
M6ナット	2
保証書	1
取付説明書	1
取扱説明書	1

ウォールB



ウォールB [DPAB201]

名 称	数 量
ウォール本体	1

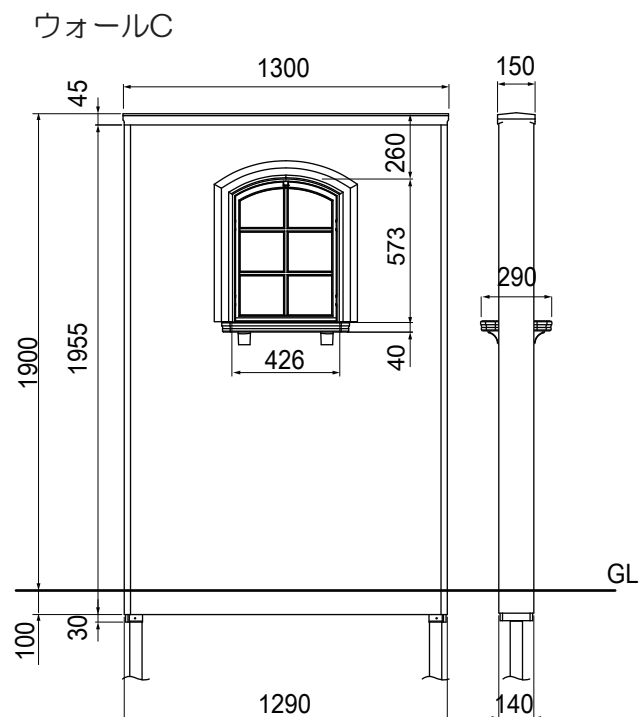
窓台Sセット [DRAP002]

名 称	数 量
窓台S 前	1
窓台S 後	1
M4×25 皿小ねじ	2
M4×10 トラス小ねじ	4
エプトシーラー L235	2
エプトシーラー L115	2

ベースポールセットA [DPAP01A]

名 称	数 量
ベースポールA	2
M6×75六角ボルト	2
M6平ワッシャー	4
M6ナット	2
保証書	1
取付説明書	1
取扱説明書	1

■製品寸法（単位：mm）



※ウォールCには裏表があります。
ガラス押さえ窓枠を留めるねじがある方から
ガラスをはめることになりますので、建て込
みの前に確認してください。

■梱包明細

ウォールC [DPAB301]

名 称	数 量
ウォール本体	1

窓台セット [DPAP012]

名 称	数 量
窓台 前	1
窓台 後	1
M4×25 皿小ねじ	2
M4×10 トラス小ねじ	4
エプトシーラー L385	1
エプトシーラー L40	2
エプトシーラー L115	2

ガラスセットA [DPAP005]

名 称	数 量
ガラス	1

ベースポールセットA [DPAP01A]

名 称	数 量
ベースポールA	2
M6×75六角ボルト	2
M6平ワッシャー	4
M6ナット	2
保証書	1
取付説明書	1
取扱説明書	1

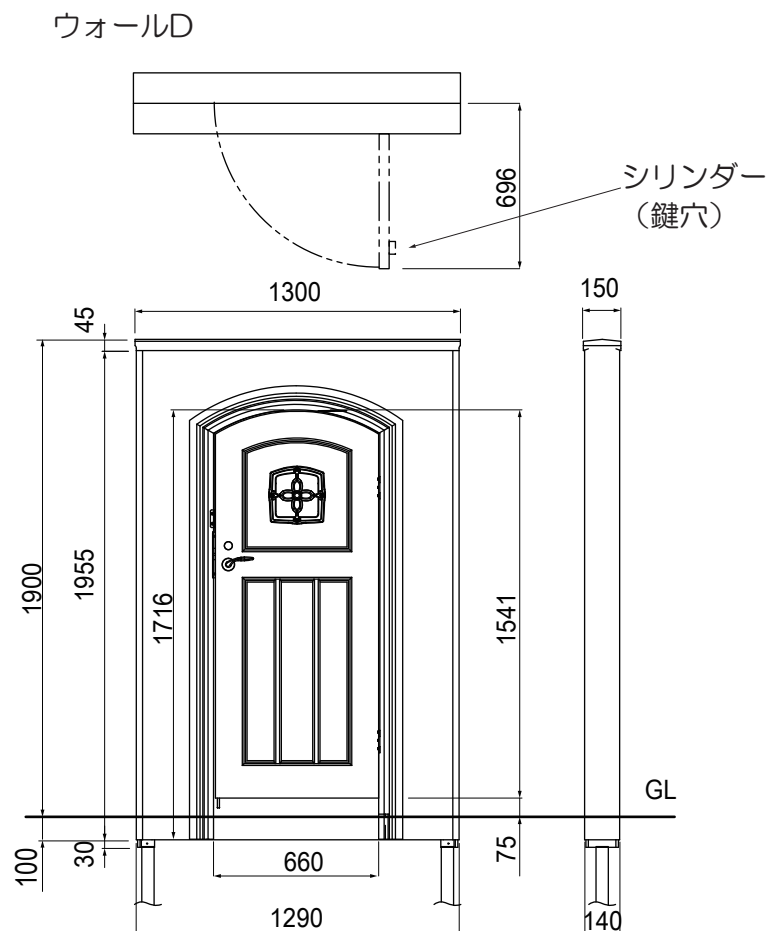
■製品寸法（単位：mm）

B

※図は右勝手の場合

※扉を外側（鍵穴がある側）から見て、ヒンジが右側にあるのが右勝手です

※ウォールDには裏表があります。建て込みの前にヒンジ取付穴の位置を確認し、右勝手/左勝手によって適切な方向で施工してください。



■梱包明細

ウォールD [DPAB401]

名 称	数 量
ウォール本体	1

扉部品セットA [DPAP008]

名 称	数 量
ヒンジセット	
ヒンジ	2
スペーサー	2
M4×10 超低頭ねじ	12
戸当たりセット	
戸当たり	1
M5×10 超低頭ねじ	2
落とし棒セット	
落とし棒	1
落とし棒つまみ	1
落とし棒ホルダー	1
落とし棒	1
M5×10 超低頭ねじ	2
ラッチ受けセット	
ストライク	1
箱受け	1
M4×20 皿小ねじ	2
ガラスセット	
ガラス	1
M4×30六角穴付きボタンボルト	4
M4小ワッシャー	4
六角レンチ	1

扉セットA [DRAP022]

名 称	数 量
扉	1

ベースボールセットA [DPAP01A]

名 称	数 量
ベースボールA	2
M6×75六角ボルト	2
M6平ワッシャー	4
M6ナット	2
保証書	1
取付説明書	1
取扱説明書	1

片開きラッチ錠ハンドルセット右勝手用 [DRBJ121-AR]

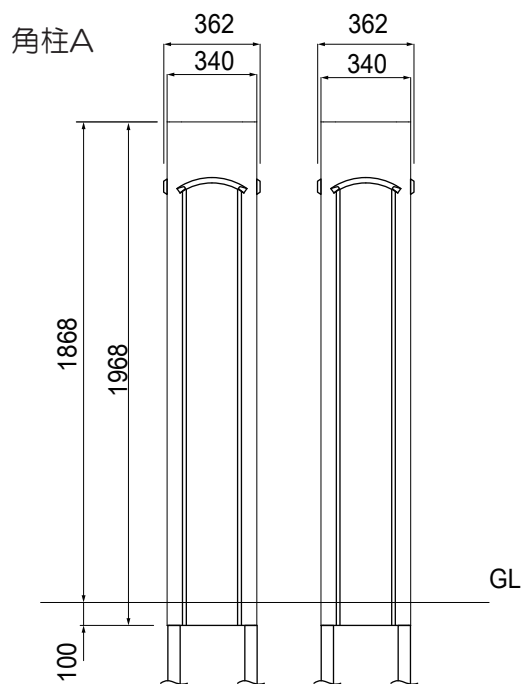
名 称	数 量
錠・ハンドルセット右勝手用	1

片開きラッチ錠ハンドルセット左勝手用 [DRBJ131-AL]

名 称	数 量
錠・ハンドルセット左勝手用	1

どちらか片方

■製品寸法（単位：mm）



■梱包明細

角柱A [DPAB501]

名 称	数 量
角柱本体	1

角柱笠木A/[DPB0801]

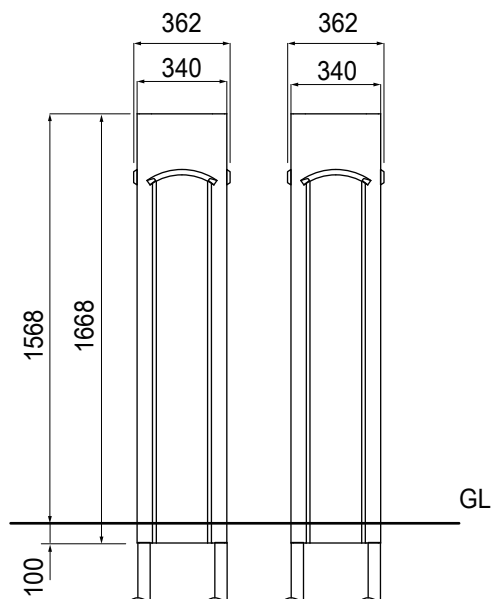
角柱石笠木A [DPB0706]

名 称	数 量
笠木本体	1
接着剤	1
保証書	1
笠木取付説明書	1
笠木取扱説明書	1

ベースポールセットB [DPAP01B]

名 称	数 量
ベースポールB	4
M5×20六角ボルト	8
M5平ワッシャー	16
M5ナット	8
保証書	1
取付説明書	1
取扱説明書	1

角柱A ショートタイプ



角柱Aショートタイプ [DPAB601]

名 称	数 量
角柱本体	1

角柱笠木A/[DPB0801]

角柱石笠木A [DPB0706]

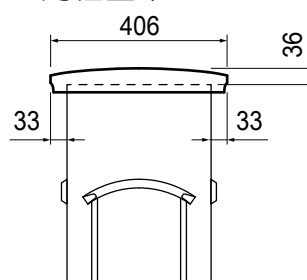
名 称	数 量
笠木本体	1
接着剤	1
保証書	1
笠木取付説明書	1
笠木取扱説明書	1

ベースポールセットB [DPAP01B]

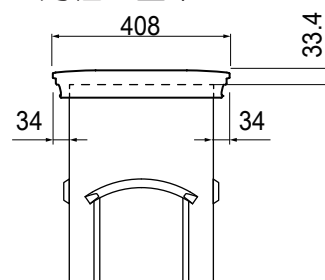
名 称	数 量
ベースポールB	4
M5×20六角ボルト	8
M5平ワッシャー	16
M5ナット	8
保証書	1
取付説明書	1
取扱説明書	1

※角柱A/角柱Aショートタイプ
には、笠木がセットになって
います。
笠木を取付けた場合の寸法は
右図を参照してください。

角柱笠木 A

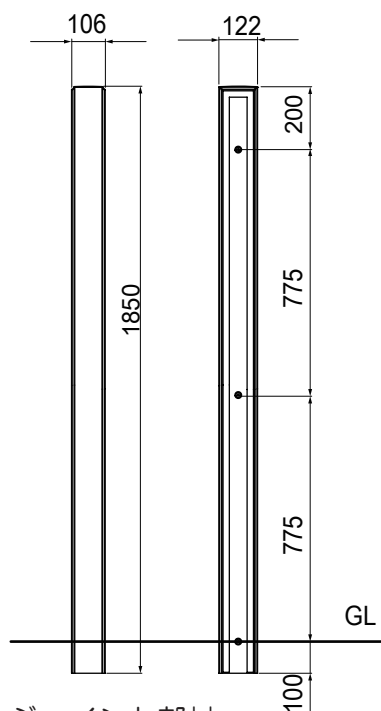


角柱石笠木 A



■製品寸法（単位：mm） ・ 梱包明細

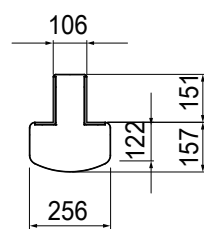
B



ジョイント部材

ウォールティンバーA [DPBO202]

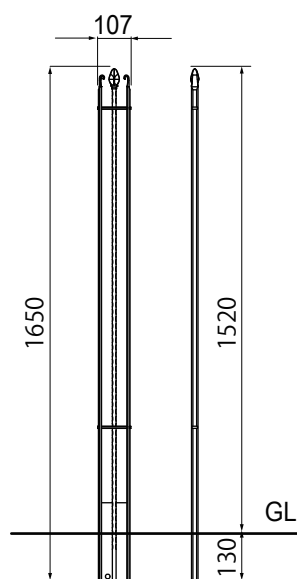
名 称	数量
ウォールティンバー本体	1
φ5×100 トラスタッピングねじ	3
ワッシャー	3



ジョイント部材

シェルフティンバーA [DPBO302]

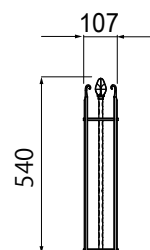
名 称	数量
シェルフティンバー本体	1
φ5×100 トラスタッピングねじ	2
ワッシャー	2



ジョイント部材

スリットフェンスA [DPCO101]

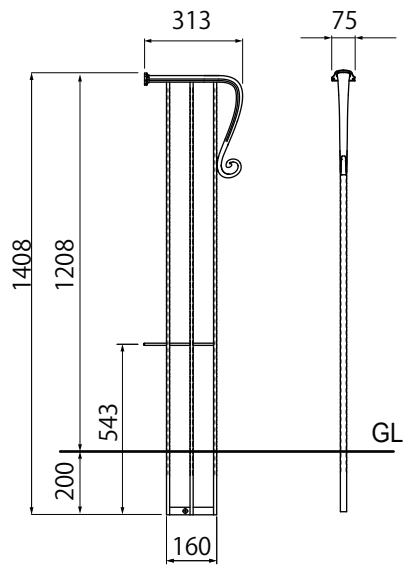
名 称	数量
スリットフェンス本体	1
取付金具	4
φ4×20 小頭皿タッピングねじ	4
M3×4 止めねじ	8(予備4)
六角棒レンチ	1
取付説明書	1
取扱説明書	1
保証書	1



ジョイント部材

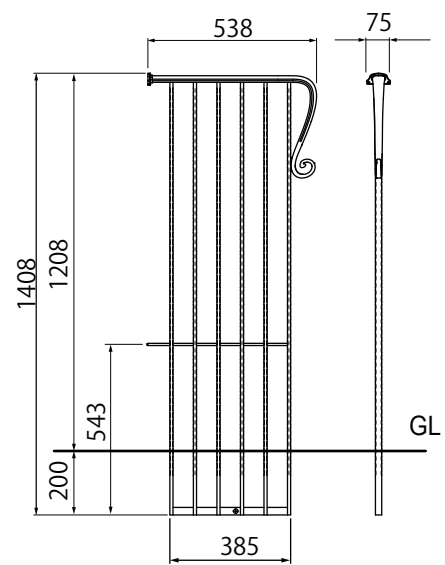
スリットフェンスAショートタイプ
[DPCO102]

名 称	数量
スリットフェンス本体	1
取付金具	4
φ4×20 小頭皿タッピングねじ	4
M3×4 止めねじ	4(予備2)
M3×6 止めねじ	4(予備2)
六角棒レンチ	1
取付説明書	1
取扱説明書	1
保証書	1



サイドフェンスA [DPC0201]

名 称	数量
サイドフェンス本体	1
φ5×20 なベタッピングねじ	2
取付説明書	1
取扱説明書	1
保証書	1

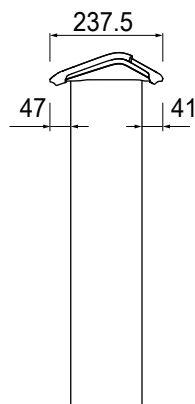


サイドフェンスAワイドタイプ
[DPC0202]

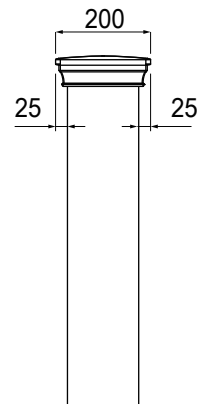
名 称	数量
サイドフェンス本体	1
φ5×20 なベタッピングねじ	2
取付説明書	1
取扱説明書	1
保証書	1

笠木（オプション部品）を取付けた際の側面寸法

瓦笠木 A



石笠木 A



■アイテム取付位置図（単位：mm）

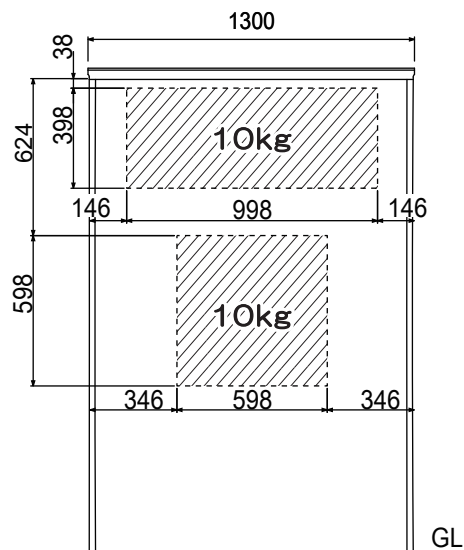


：タッピングねじ使用可能範囲（数値は耐荷重）

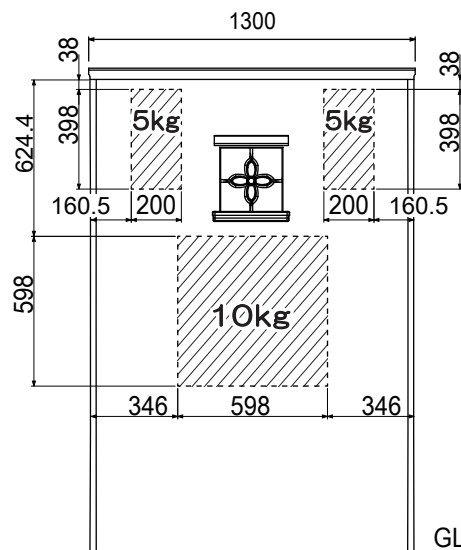
※ウォール A～D は両面とも、角柱は 4 面とも同様です。

B

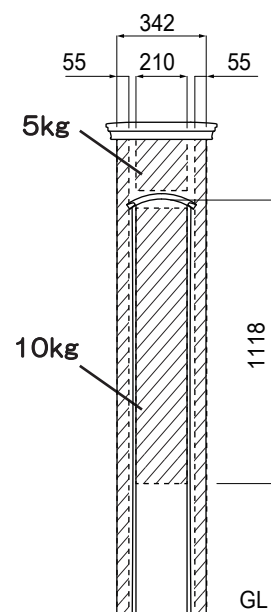
ウォール A



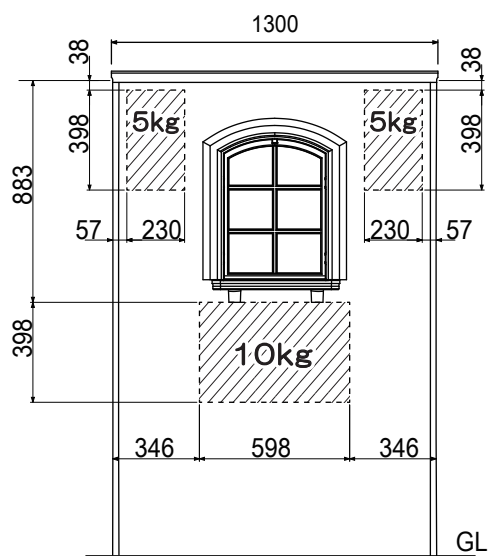
ウォール B



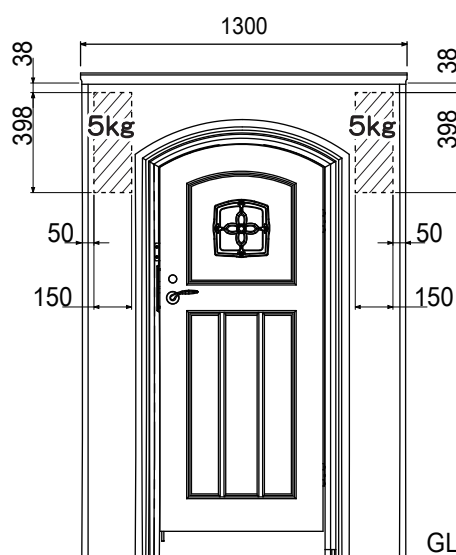
角柱 A



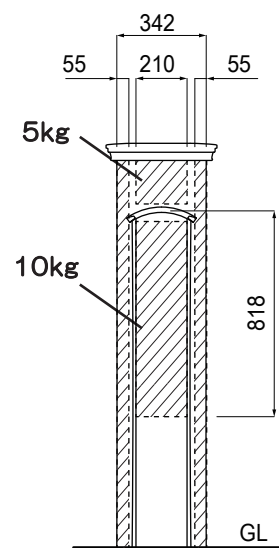
ウォール C



ウォール D



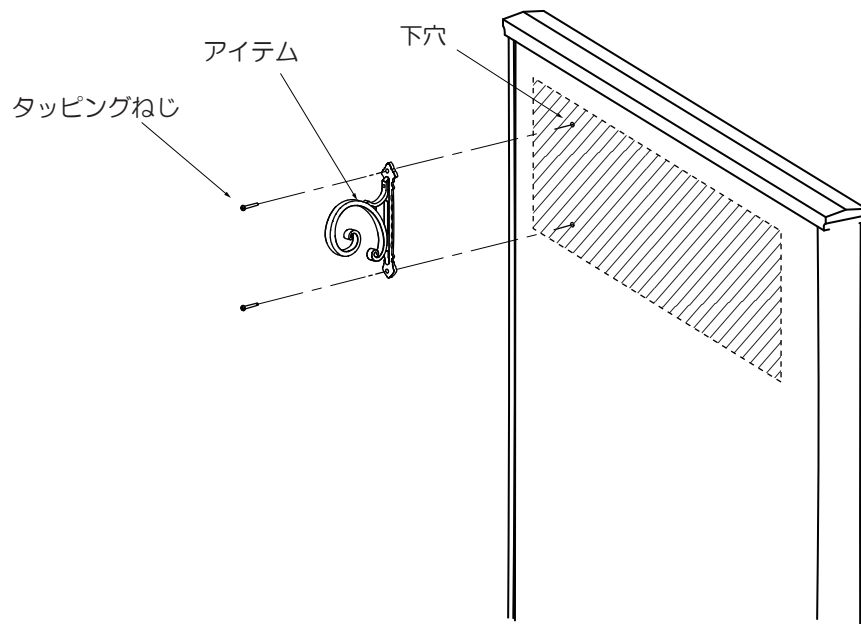
角柱 A
ショート



■アイテムの取付けについて

ディーズパティオのウォール類は基材が発泡スチロールでできているため、一般部にねじを締めることはできませんが、左ページの図の範囲には厚さ 1.6mm のアルミ板が埋め込まれているため、ねじを締めることができます。

アイテムを取付ける際は、左図の範囲内に下穴を開け、タッピングねじを締めこんでください。



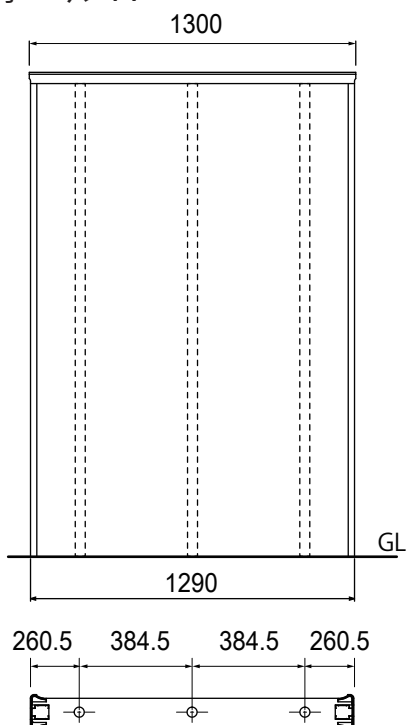
- ・ 左ページの図の範囲以外の場所にねじを締めることはできません。
- ・ 配線が必要なアイテム（照明など）は、次ページの配線穴位置図を参照し、配線穴の通る位置に取付けてください。
- ・ ディーズデコ ガーデンアイテムの取付方法についての詳細はそれぞれの取付説明書を参照してください。
- ・ ウォールC、ウォールDにアイテムを取付けるときは、オプション錠戸や扉に干渉しない位置に取付けるよう注意してください。オプション錠戸は、アイテムより先に取付けてください。

■配線用穴位置図（単位：mm）

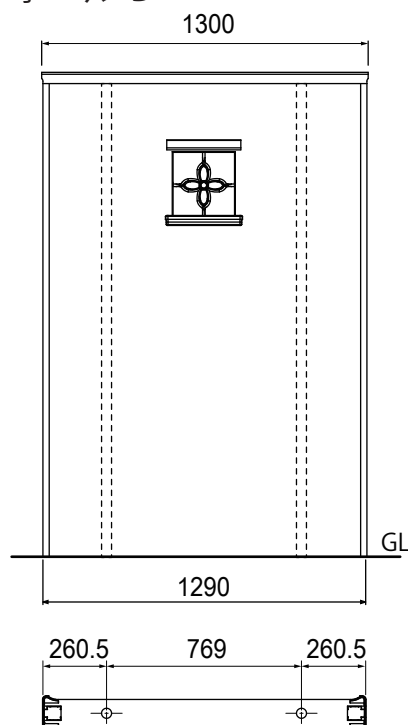
※穴径はウォールA～Dのいずれもφ40

B

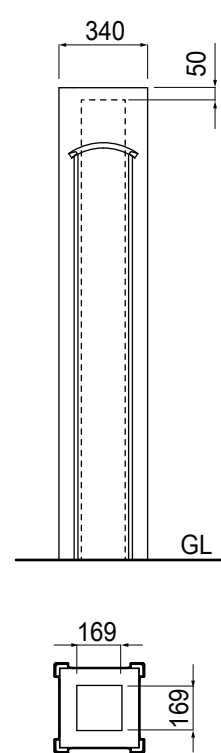
ウォール A



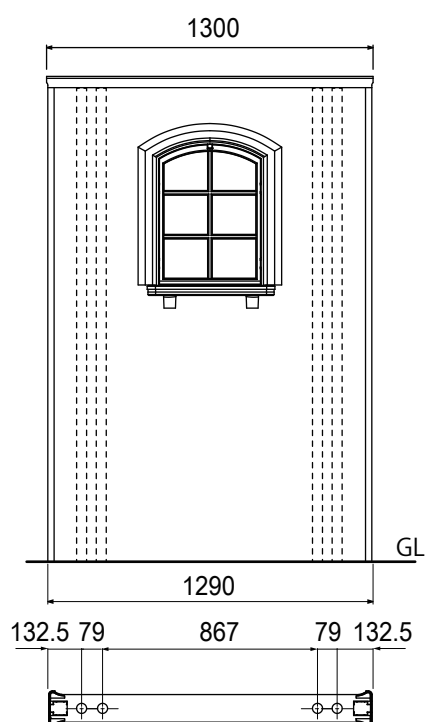
ウォール B



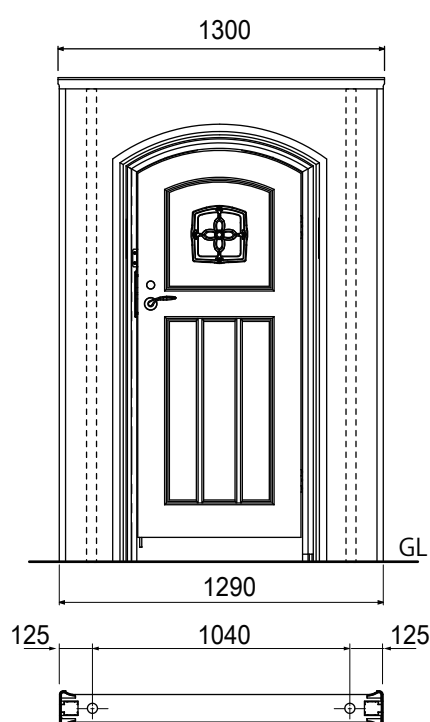
角柱 A



ウォール C

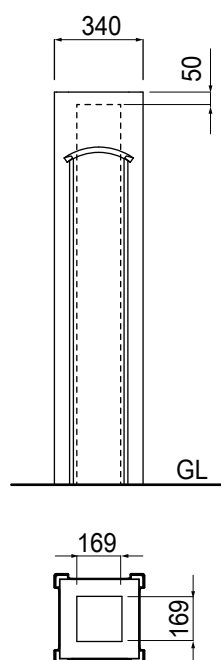


ウォール D



角柱 A

ショートタイプ



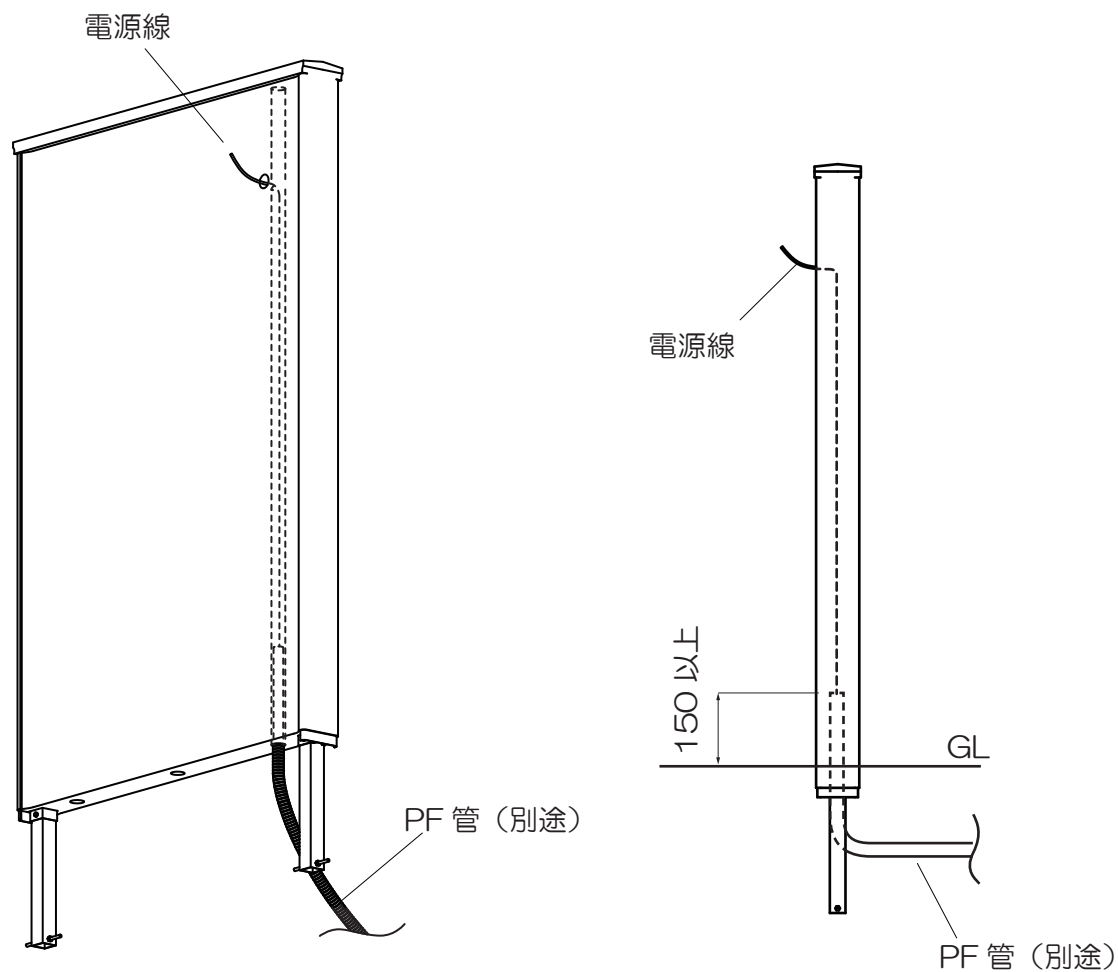
内側：オプション錠戸を取付けない場合の配線穴

外側：オプション錠戸を取付ける場合の配線穴

■配線時の施工について

ディーズパティオのウォール類には、左図の位置に配線用の穴が設けられています。

ウォールに照明等の配線が必要なアイテムを取付ける際は、配線穴の位置に正面からドリルでφ20程度の穴を開け、ウォールの埋め込み前に電源線を通してください。



- ・電気配線に関わる工事は、必ず有資格者が行ってください。
- ・ウォールC、ウォールDにアイテムを取付けるときは、オプション錠戸や扉に干渉しない位置に取付けるよう注意してください。

C ベースポールの取付け

ウォール本体にベースポールを取付けます。

■ 施工手順

ウォール A～D

- 1 ウォールに巻かれた保護フィルムの底部のみを剥がし、底面よりベースポール A を挿入します。

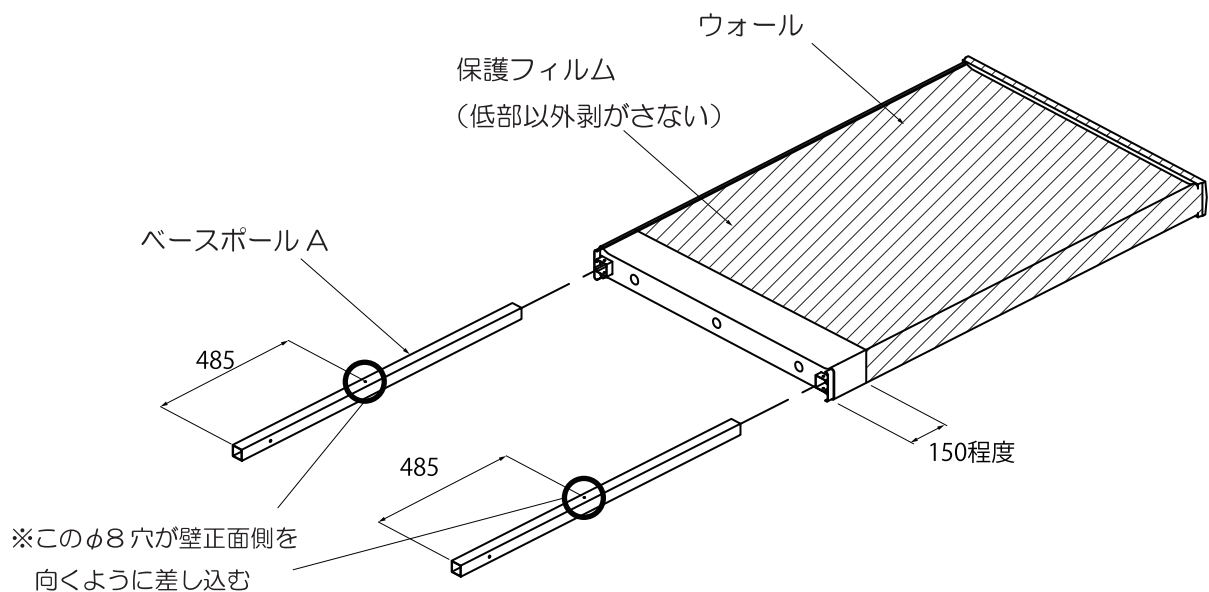
ウォールA～D

名 称	数 量
ウォール本体	1 /1

使用
部
材

ベースポールセットA

名 称	数 量
ベースポールA	2 /2

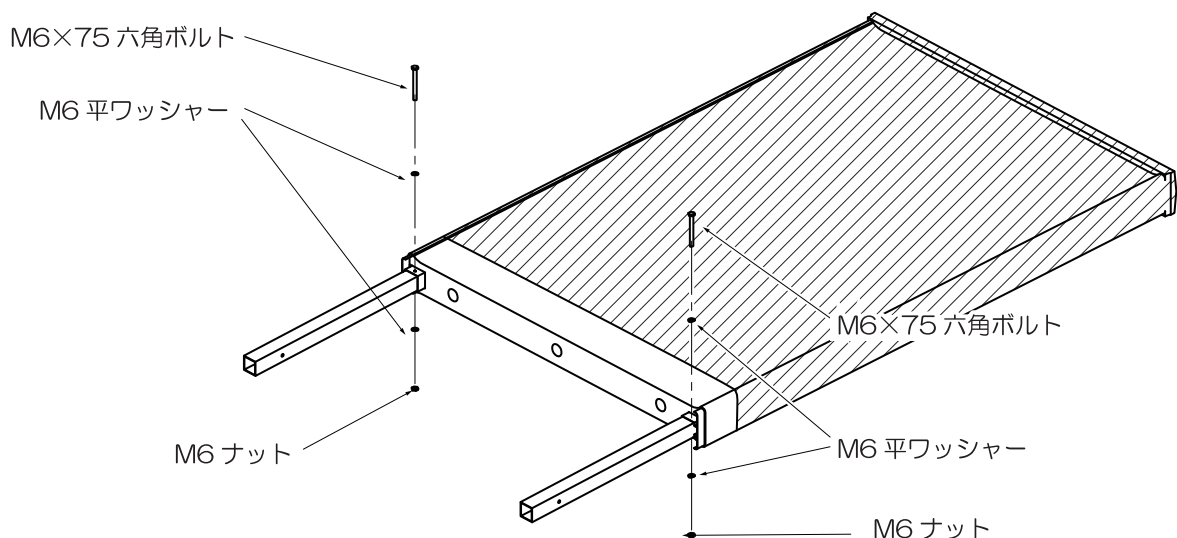


- 2 M6 六角ボルトとワッシャー、ナットで固定します。

ベースポールセットA

名 称	数 量
M6×75六角ボルト	2 /2
M6平ワッシャー	4 /4
M6ナット	2 /2

使用
部
材



角柱

- 1
- 底面から突き出たアングルに、ベースポール B を M5 六角ボルトとワッシャー、ナットで固定します。

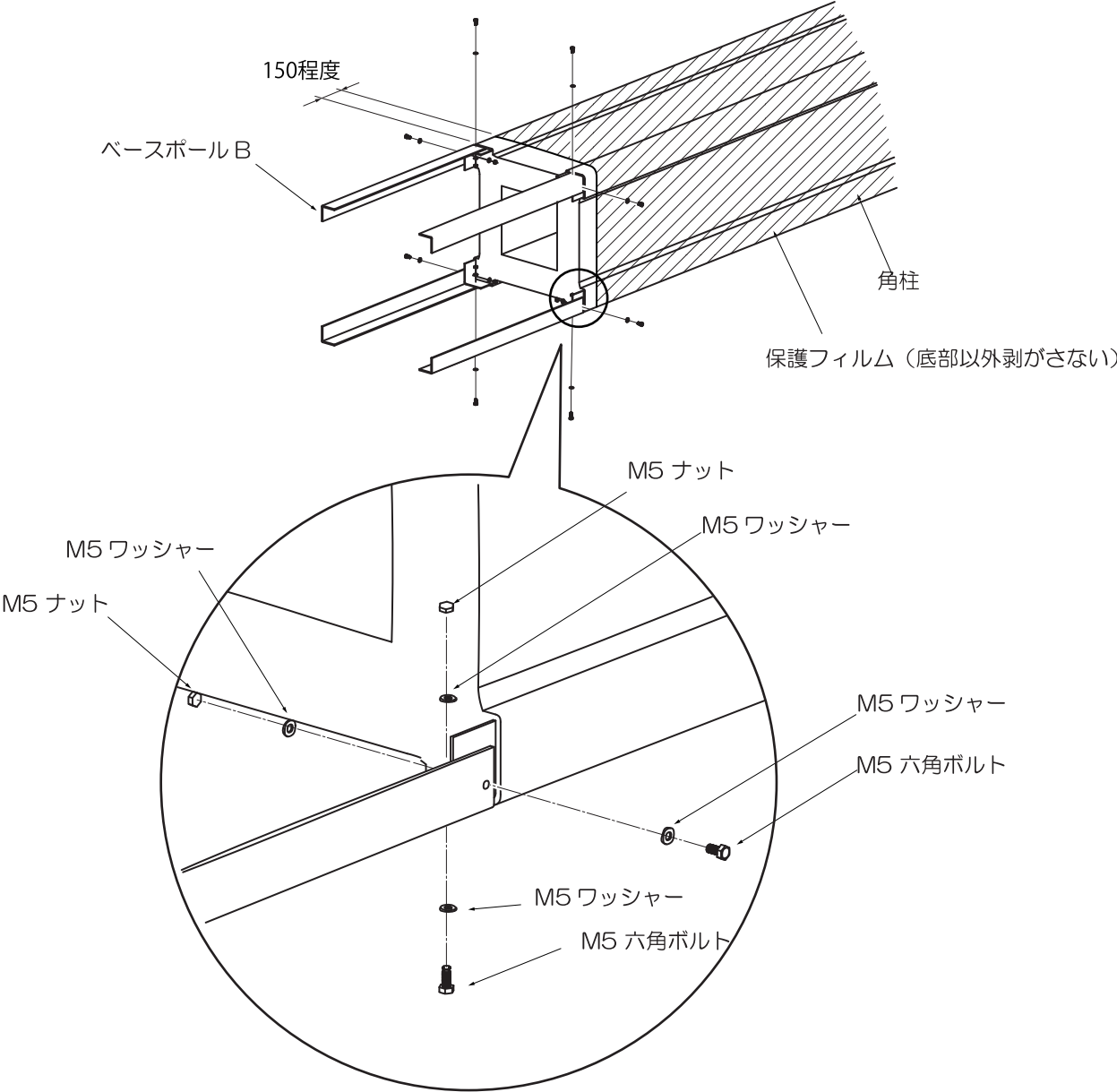
使用部材

角柱A/角柱Aショートタイプ

名 称	数 量
角柱本体	1 /1

ベースポールセットB

名 称	数 量
ベースポールB	4 /4
M5×20六角ボルト	8 /8
M5平ワッシャー	16 /16
M5ナット	8 /8



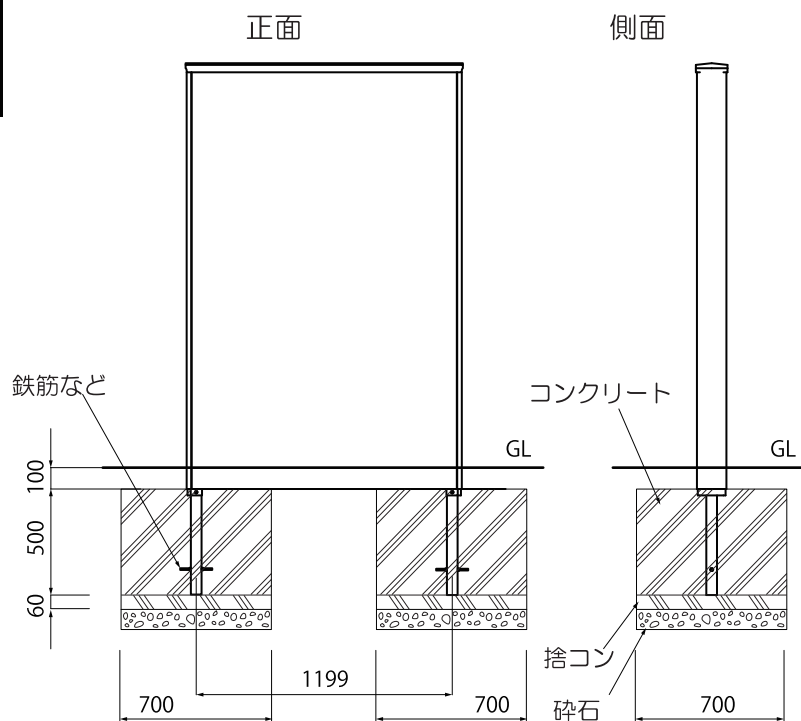
D ウォールの単独での施工、角柱の施工



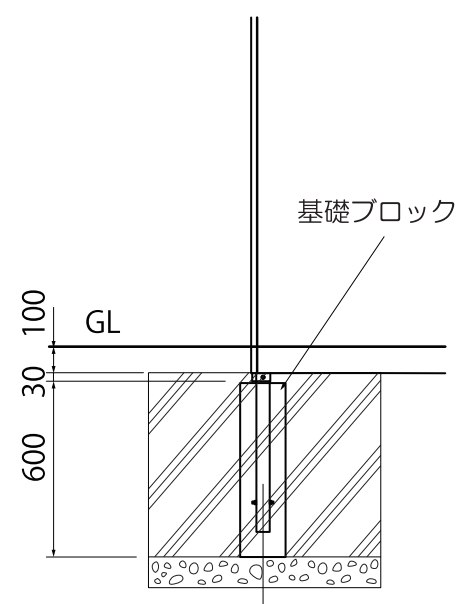
- ・製品保護のため、施工中はフィルムを剥がさないで下さい。
- ・コンクリートやモルタルに、塩分を含む砂のご使用は避けてください。また、
混和剤を用いる場合は、非塩素系または非アルカリ系のものをご使用ください。
- ・養生時間を十分に確保し、その間に振動や衝撃を与えないようにしてください。

■基礎寸法（単位：mm）

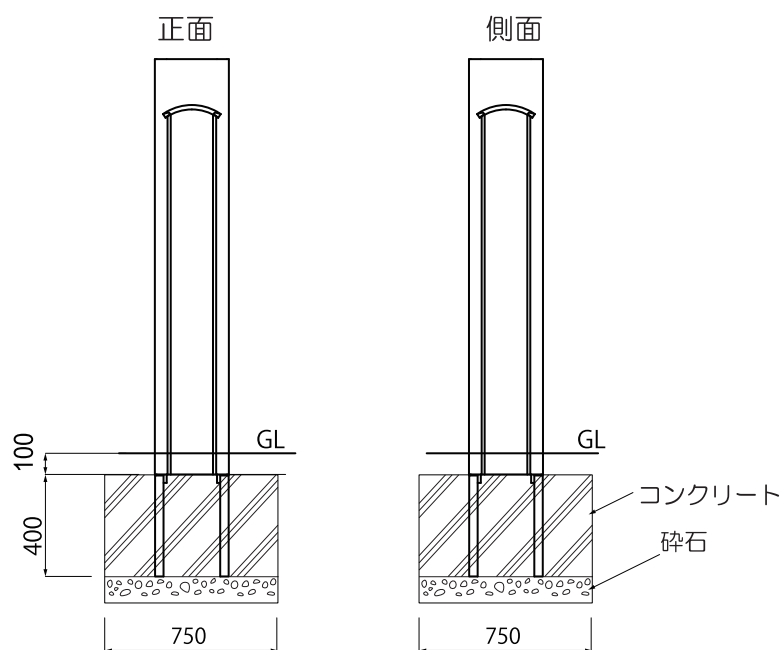
ウォール A～D



基礎ブロックを使う場合

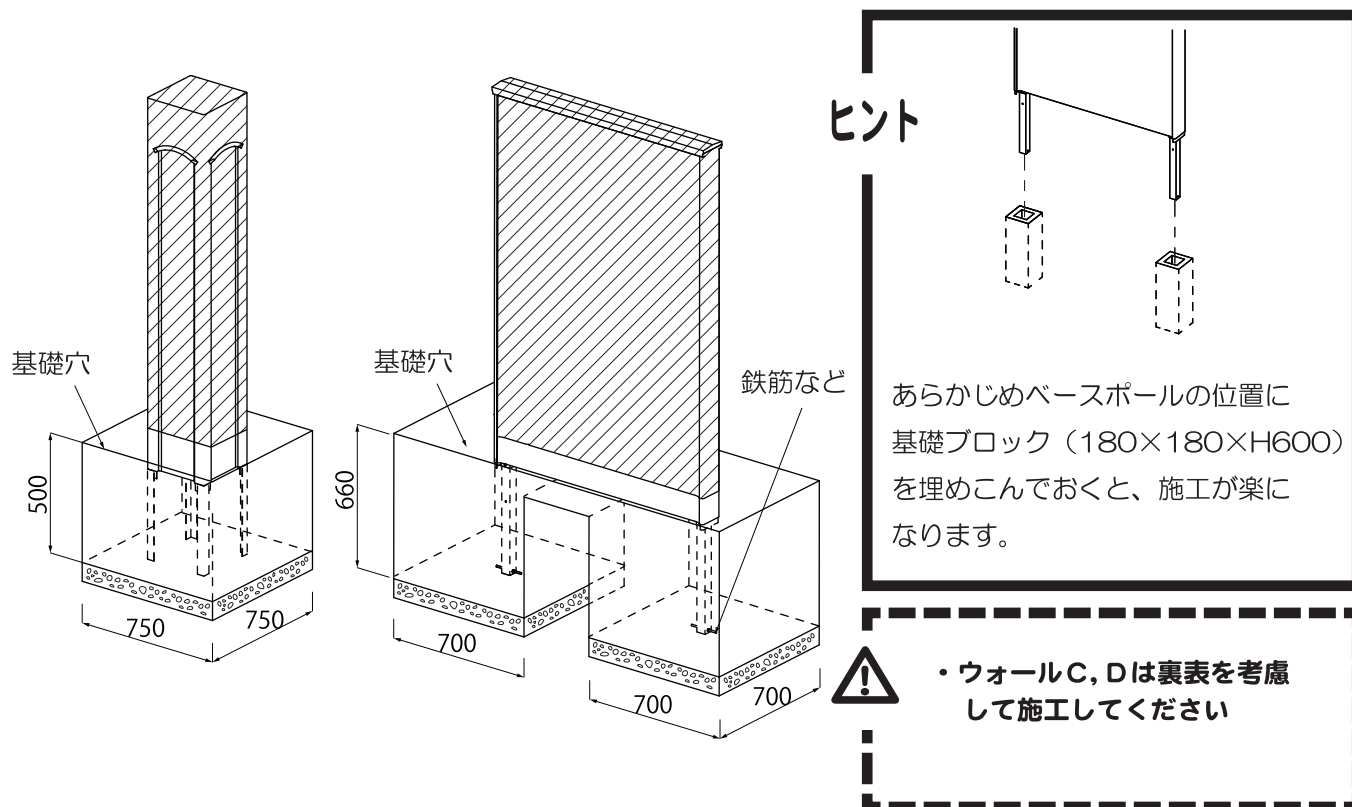


角柱

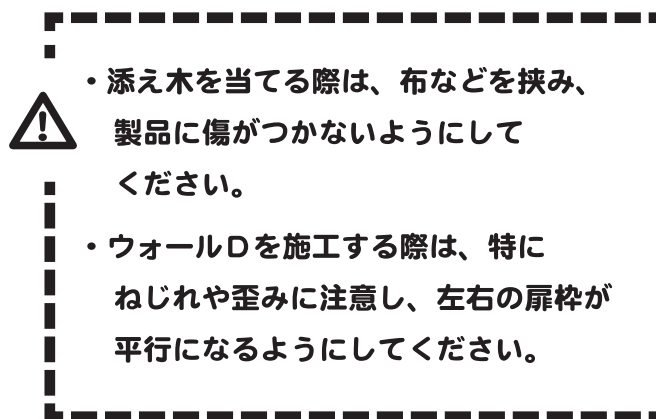
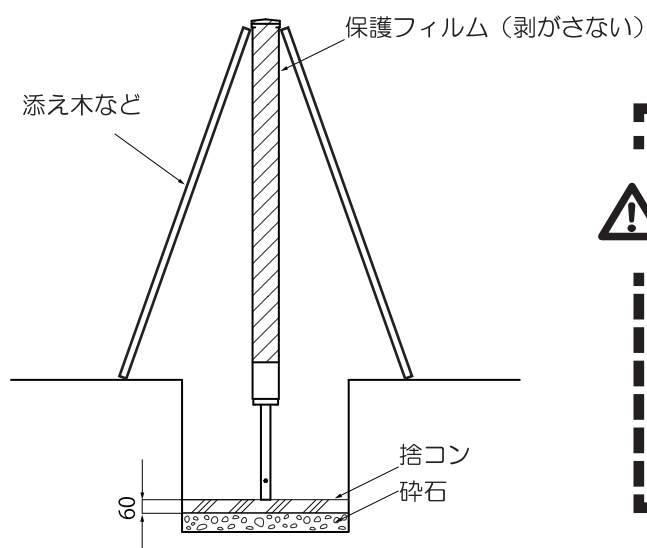


■施工手順

- 1 前ページの基礎寸法図の寸法以上の基礎穴を設け、ウォールを建て込みます。
このとき、抜け止めの為にベースポールの下部の穴には鉄筋や寸切りボルト等挿してください。



- 2 添え木などを当てて水平と垂直を出し、ウォールの高さを調整します。



- 3 ウォールの水平、垂直を確認し、コンクリートを打ちます。
コンクリートが硬化してから、丁寧に保護フィルムを剥がしてください。

D. ウォールの単独での施工 終

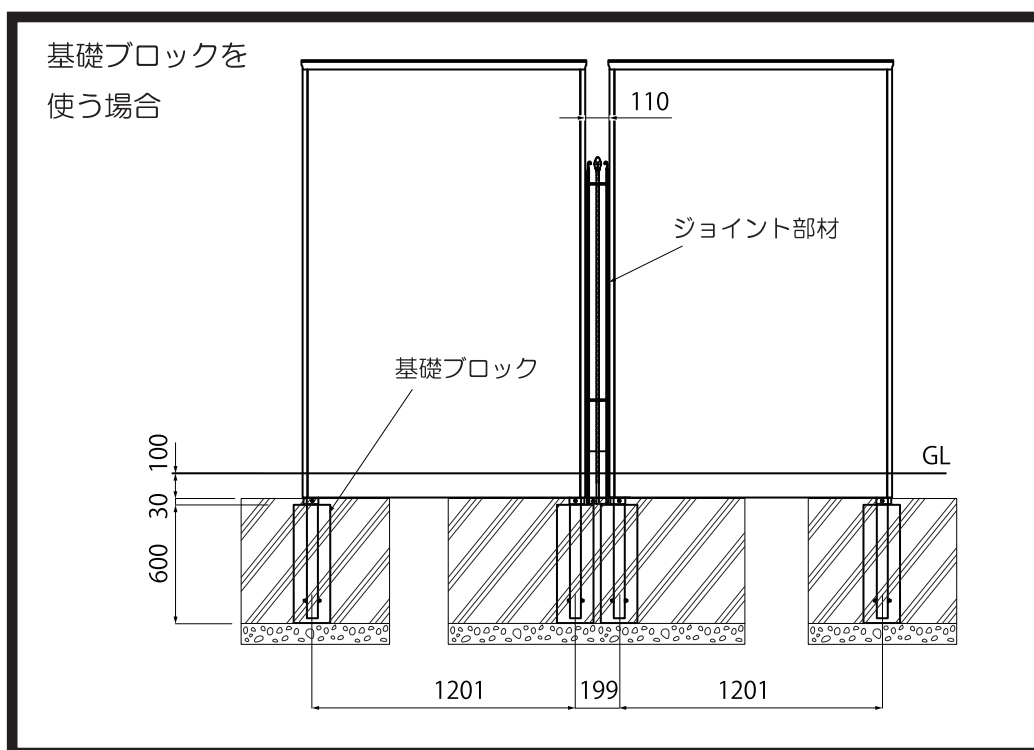
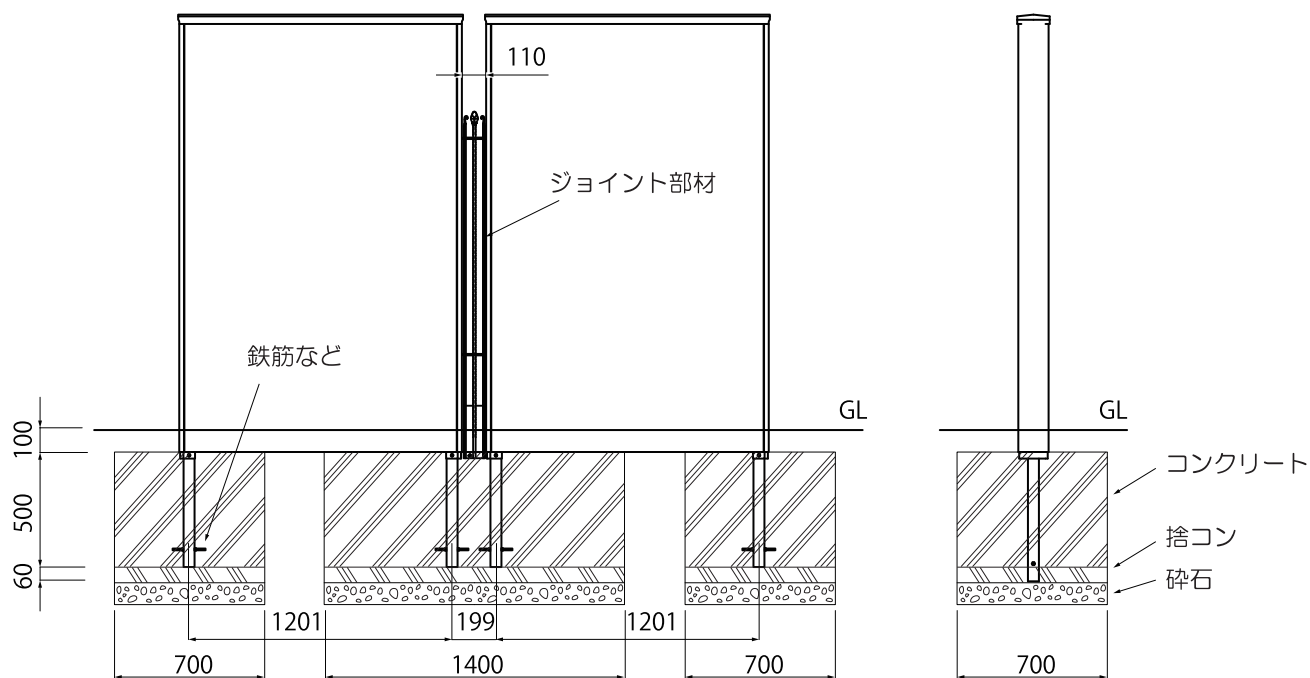
E ウォールの連続での施工（ジョイント部材を挟んだ施工）



- ・製品保護のため、施工中はフィルムを剥がさないで下さい。
- ・コンクリートやモルタルに、塩分を含む砂のご使用は避けてください。また、混和剤を用いる場合は、非塩素系または非アルカリ系のものをご使用ください。
- ・養生時間を十分に確保し、その間に振動や衝撃を与えないようにしてください。

■基礎寸法（単位：mm）

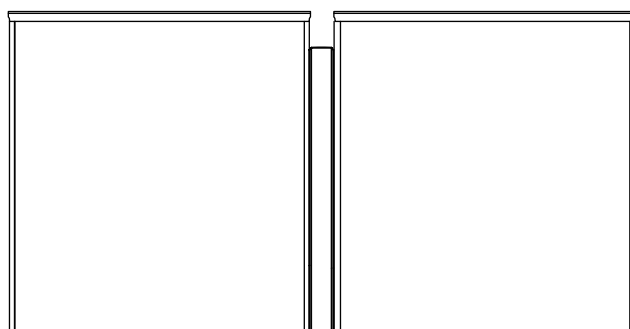
※図はジョイント部材にスリットフェンスAを使用した場合



ジョイント部材を挟んで連続で施工する際は、埋め込む前にウォールに対する加工や部品の取付が必要です。
次ページからの説明をよく読んでから施工してください。

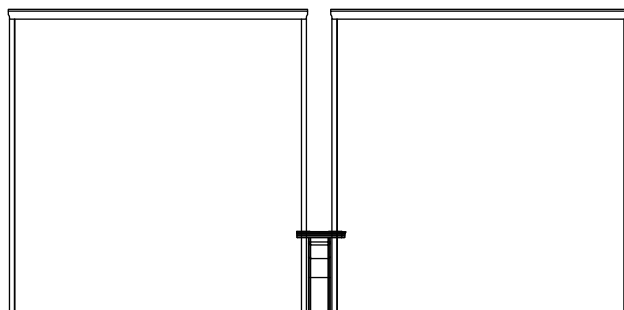
E-1

ウォールティンバーAを使用した施工
→20ページ



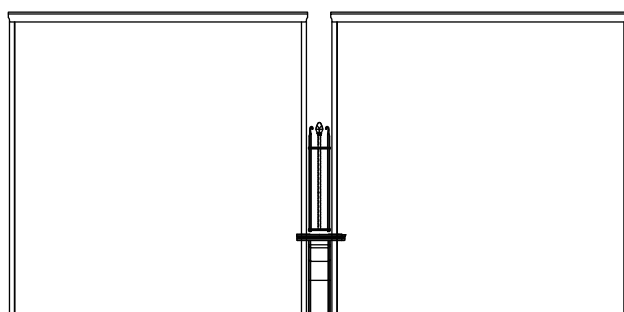
E-2-1

シェルフティンバーAのみを使用した施工
→22ページ



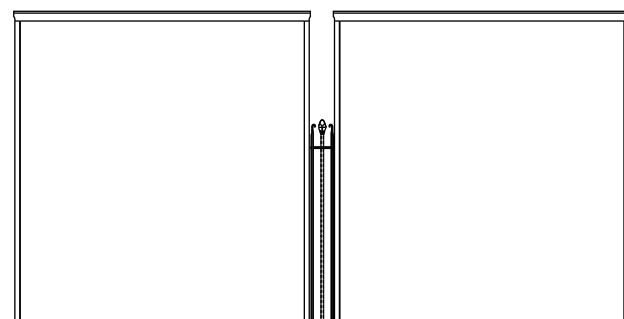
E-2-2

シェルフティンバーAとスリットフェンスA
ショートタイプを併用した施工
→24ページ



E-3

スリットフェンスAを使用した連施工
→28ページ

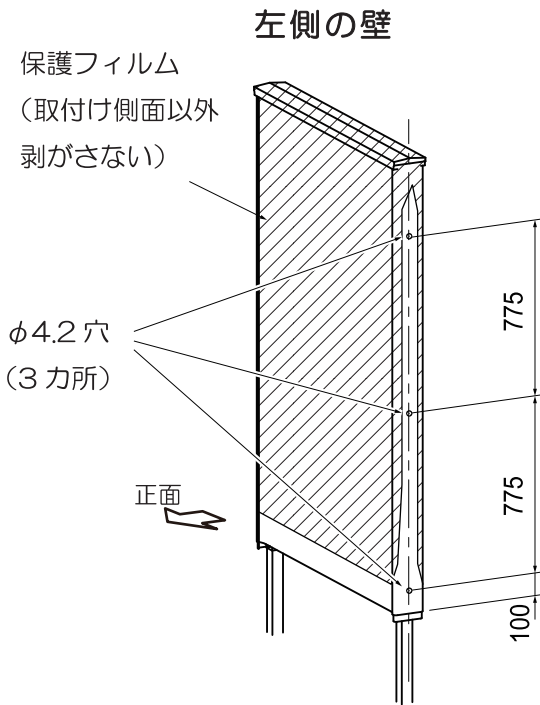


E

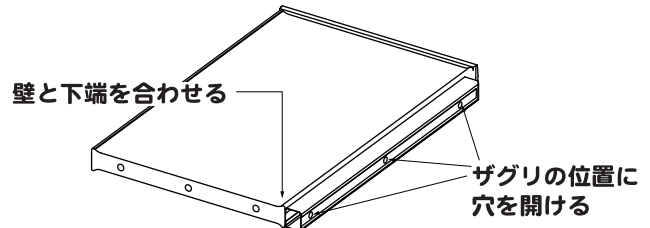
E-1 ウォールティンバーAを使用した施工

■ 施工手順

- ウォールの埋め込み前に、ウォールティンバー A を取付けます。
取付けるウォールの側面の保護フィルムを一部切抜き、下図を参考にφ4.2の下穴を開けてください。

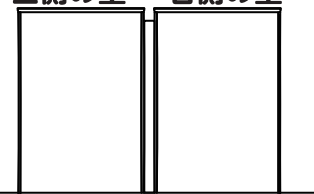


- ・図の値は参考値です。製品を実際に取付位置にあて、穴の位置をけがいてください。



- ・ウォールティンバーAは、向かって左側の壁（最初に建て込む壁）に取付けます。

左側の壁 右側の壁

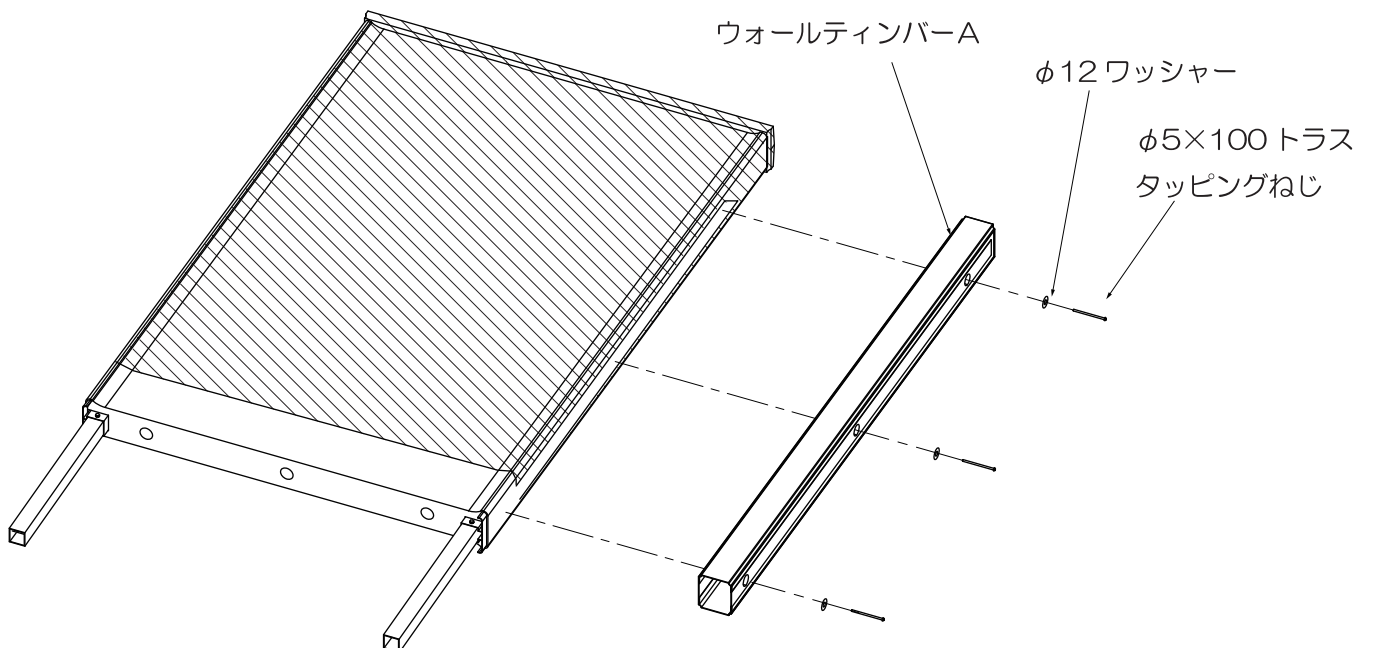


- φ5 タッピングねじとワッシャーでウォールティンバー A を取付けてください。
ウォールティンバーA側面に貼られたゴムが潰れるまでしっかりとねじを締めこんでください。

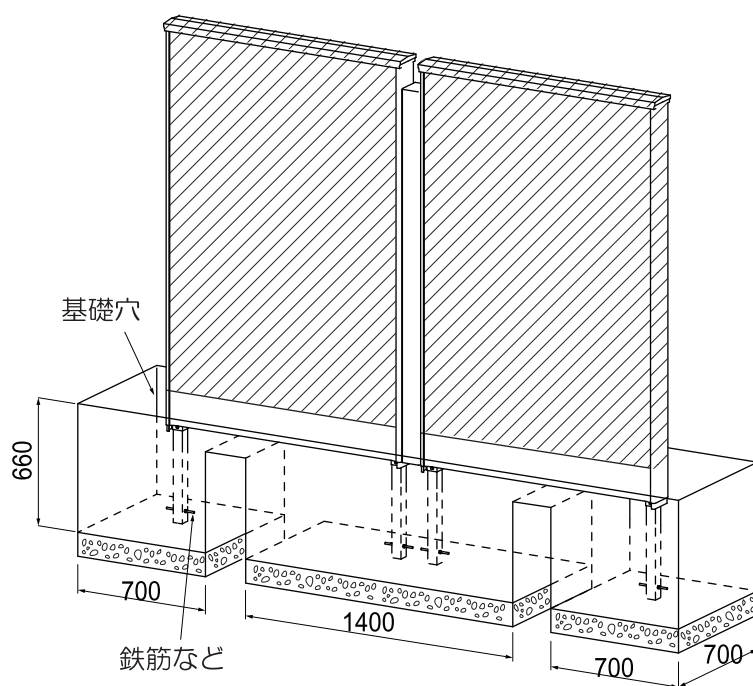
使用部材

ウォールティンバーA

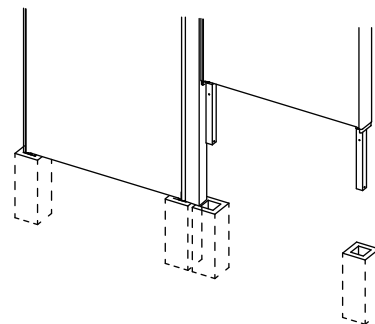
名 称	数 量
ウォールティンバー本体	1 /1
φ5×100 トラストッピングねじ	3 /3
φ12ワッシャー	3 /3



- 3 基礎寸法図以上の寸法の基礎穴を設け、ウォールとウォールティンバーAを、側面のゴムが潰れるように密着させて建て込みます。このとき、抜け止めのために、ベースポールの下部の穴には別途用意した鉄筋や寸切りボルト等を挿してください。



ヒント

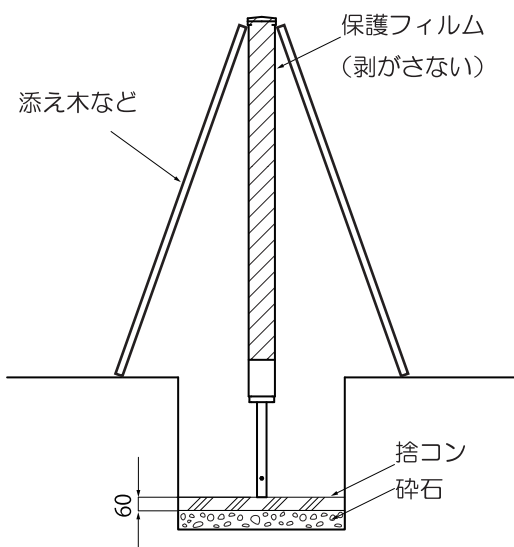


あらかじめベースポールの位置に基礎ブロック（180×180×H600）を埋めこんでおくと、施工が楽になります。



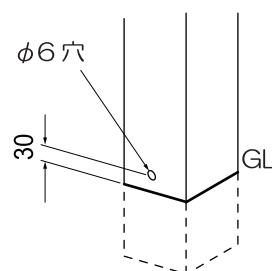
・ウォールC、Dは裏表を考慮して施工してください

- 2 添え木などを当てて水平と垂直を出し、ウォールの高さを調整します。



- ・添え木を当てる際は、布などを挟み、製品に傷がつかないようにしてください。
- ・ウォールDを施工する際は、特にねじれや歪みに注意し、左右の扉枠が平行になるようにしてください。

- 3 ウォールの水平、垂直を確認し、コンクリートを打ちます。
埋め込み完了後、ウォールティンバーAのGL上30mmの位置に、
φ6程度の水抜き穴を設けてください。
コンクリートが硬化してから、丁寧に保護フィルムを剥がしてください。



E-2 シェルフティンバーAを使用した施工

シェルフティンバーはスリットフェンスAショートタイプと組み合わせて使うことができます。組み合わせる場合と組み合わせない場合とで、施工手順が変わりますので、それぞれの説明をよく読んでから施工してください。

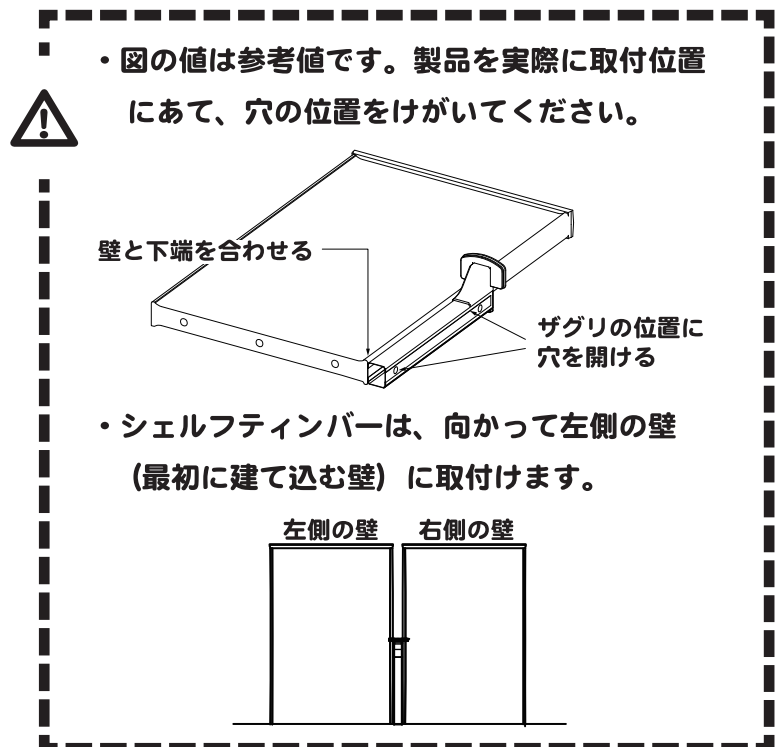
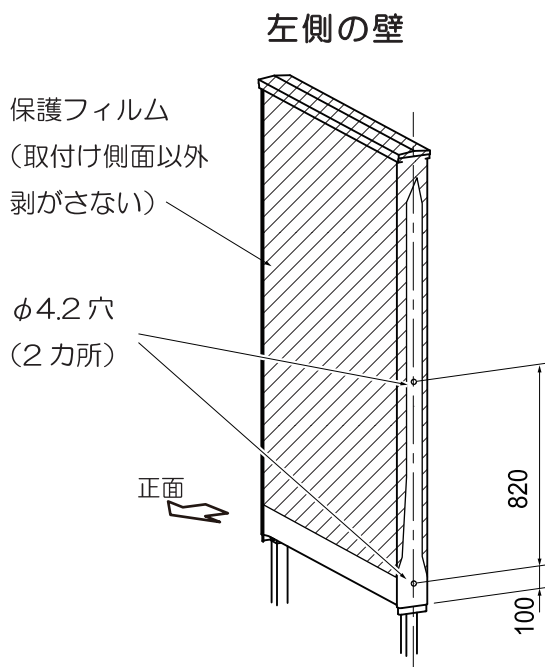
E-2-1 シェルフティンバーAのみを使用した施工→今ページ

E-2-2 シェルフティンバーAとスリットフェンスAショートタイプを併用した施工→24ページ

E-2-1 シェルフティンバーAのみを使用した施工

■ 施工手順

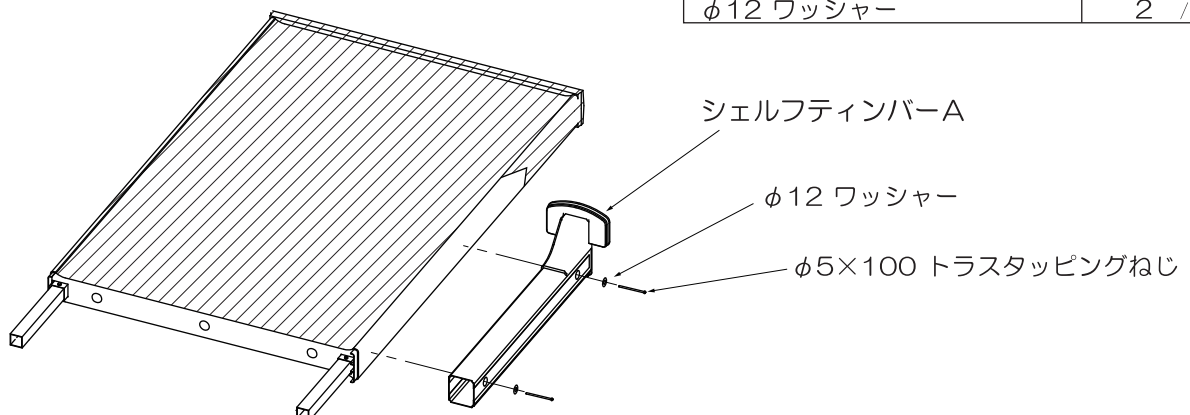
- 1 ウォールの埋め込み前の前に、シェルフティンバー A を取付けます。
取付けるウォールの側面の保護フィルムを一部切抜き、下図を参考にφ4.2の下穴を開けてください。



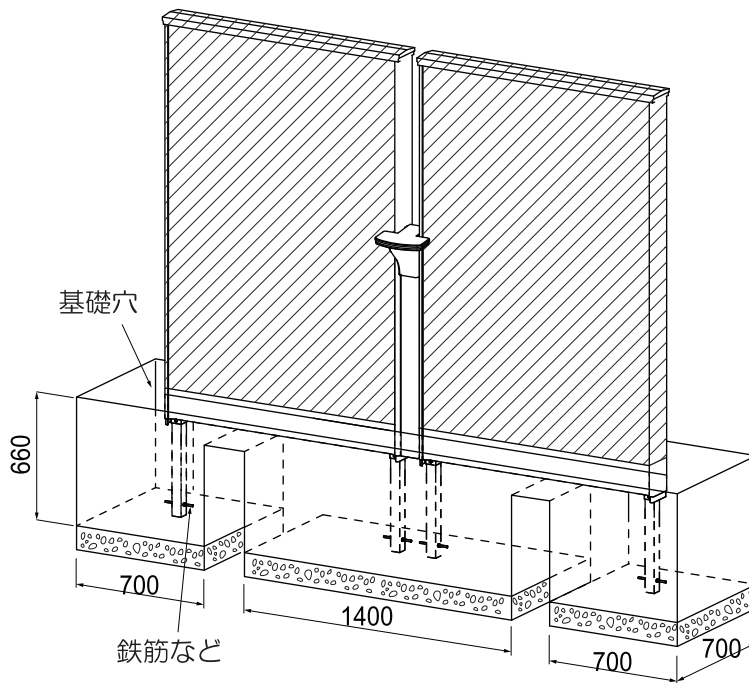
- 2 φ5 タッピングねじとワッシャーでシェルフティンバー A を取付けます。シェルフティンバーA側面のゴムが潰れるまでしっかりねじを締めこんでください。

使用部材 シェルフティンバーA

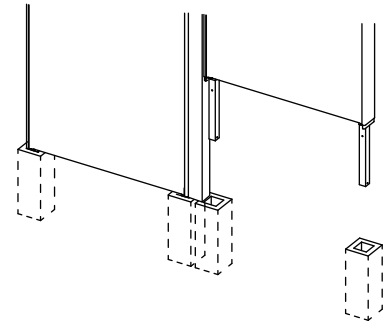
名 称	数 量
シェルフティンバー本体	1 /1
φ5×100 トラストッピングねじ	2 /2
φ12 ワッシャー	2 /2



- 3 基礎寸法図以上の寸法の基礎穴を設け、ウォールとシェルフティンバーAを、側面のゴムが潰れるように密着させて建て込みます。このとき、抜け止めのために、ベースポールの下部の穴には別途用意した鉄筋や寸切りボルト等を挿してください。



ヒント

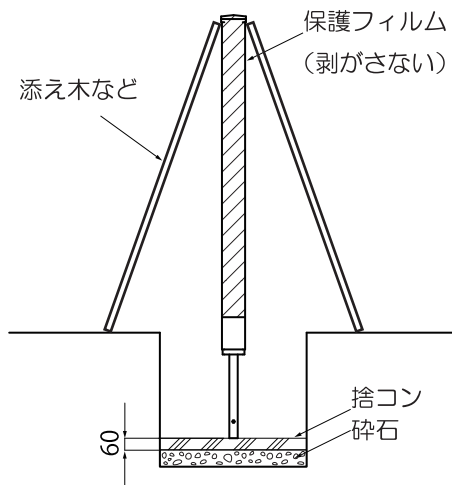


あらかじめベースポールの位置に基礎ブロック（180×180×H600）を埋めこんでおくと、施工が楽になります。



・ウォールC、Dは裏表を考慮して施工してください

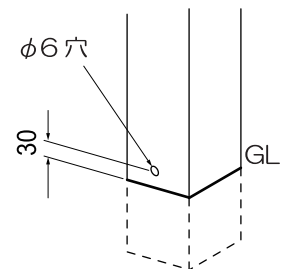
- 4 添え木などを当てて水平と垂直を出し、ウォールの高さを調整します。



・添え木を当てる際は、布などを挟み、製品に傷がつかないようにしてください。

・ウォールDを施工する際は、特にねじれや歪みに注意し、左右の扉枠が平行になるようにしてください。

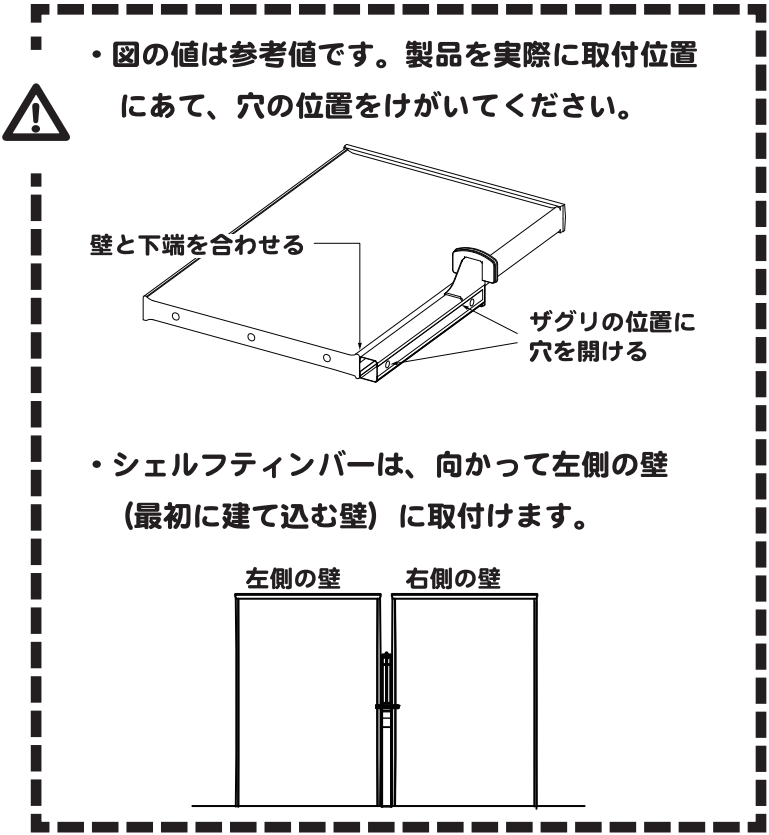
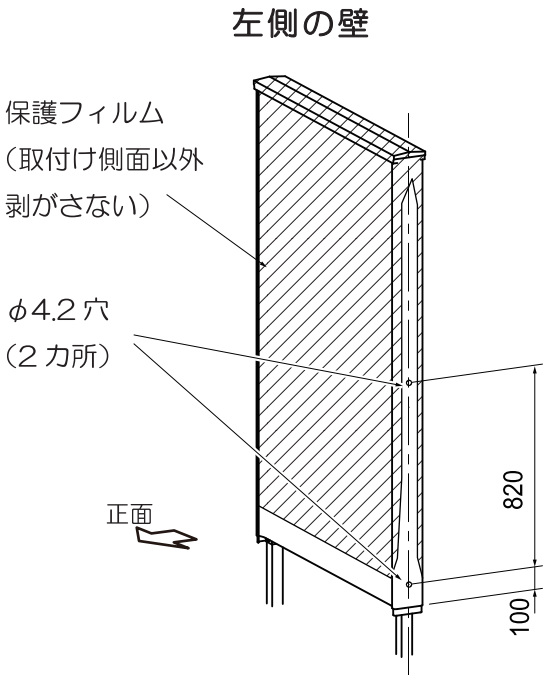
- 5 ウォールの水平、垂直を確認し、コンクリートを打ちます。
埋め込み完了後、シェルフティンバーAのGL上30mmの位置に、 $\phi 6$ 程度の水抜き穴を設けてください。
コンクリートが硬化してから、丁寧に保護フィルムを剥がしてください。



E-2-2 シェルフティンバーとスリットフェンスA ショートタイプを使用した施工

■ 施工手順

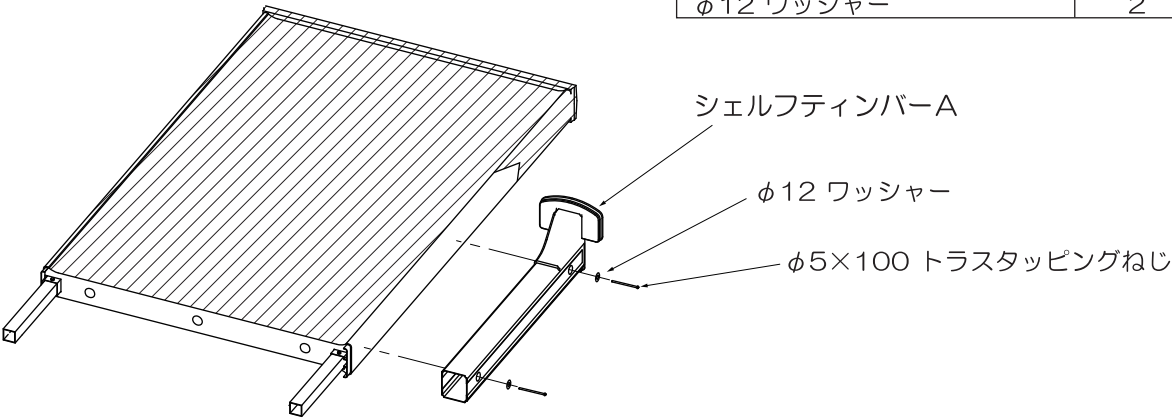
- ウォールの埋め込み前の前に、シェルフティンバー A と取付金具とを取付けます。
取付けるウォールの側面の保護フィルムを一部切抜き、下図を参考にφ4.2 の下穴を開けてください。



- φ5 タッピングねじとワッシャーでシェルフティンバー A を取付けます。シェルフティンバー A 側面のゴムが潰れるまでしっかりねじを締めこんでください。

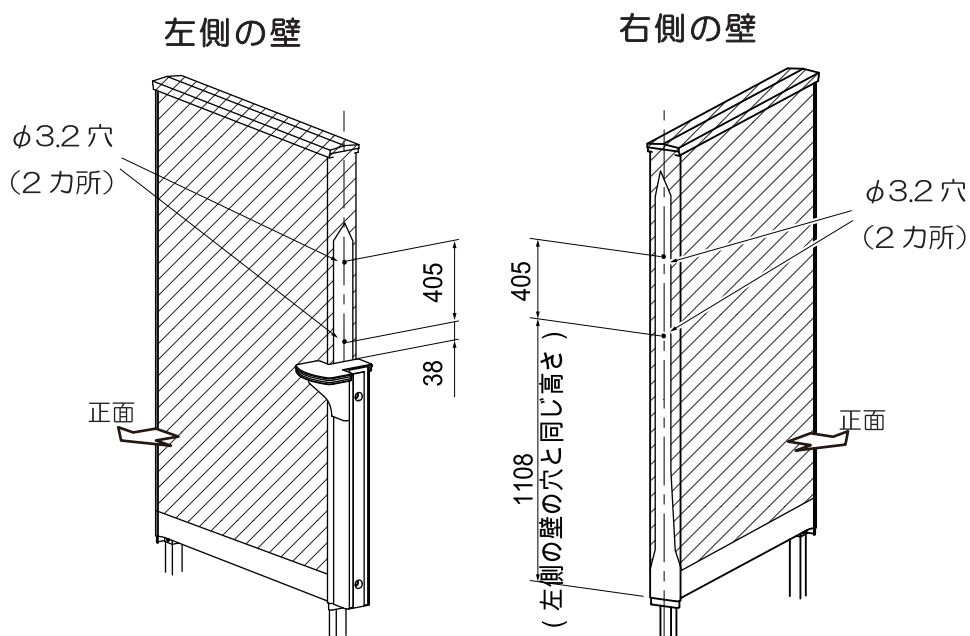
使用部材 シェルフティンバー A

名 称	数 量
シェルフティンバー本体	1 /1
φ5×100 トラスタッピングねじ	2 /2
φ12 ワッシャー	2 /2



3

左右の壁の図の位置に、 $\phi 3.2$ の下穴を開けます。
左右の壁の穴が、同じ高さになるように注意してください。



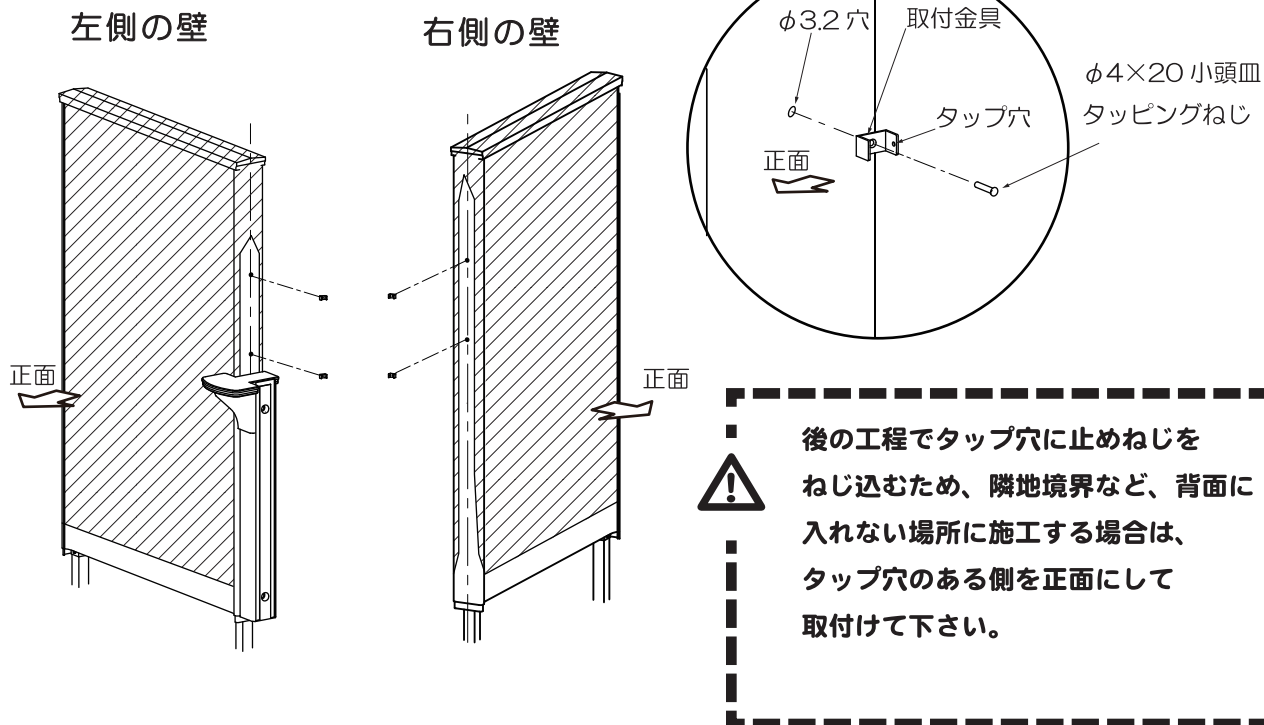
4

$\phi 3.2$ 穴の位置に、 $\phi 4$ 小頭皿タッピングねじで
スリットフェンス A ショートタイプの取付金具を
取付けます。タップ穴が開いている方が背面側になるよう
取付けてください。

使用部材 スリットフェンス A ショートタイプ

名 称	数 量
取付金具	4 /4
$\phi 4 \times 20$ 小頭皿タッピングねじ	4 /4

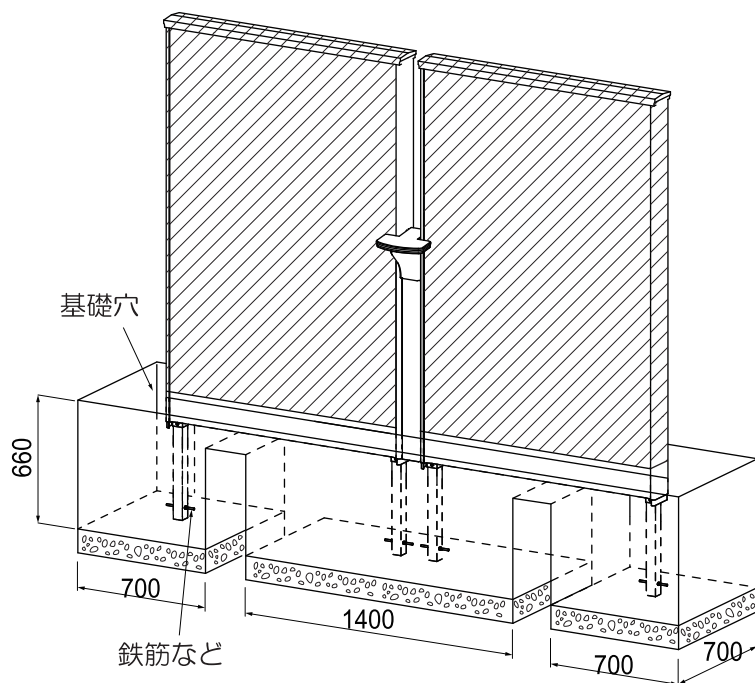
E-2



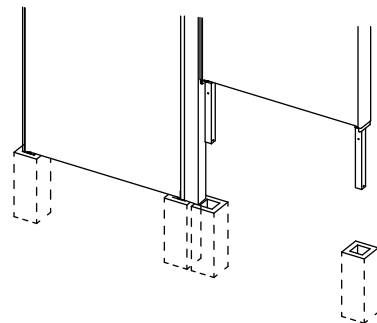
次ページへ

3

基礎寸法図以上の寸法の基礎穴を設け、ウォールとシェルフティンバーAを、側面のゴムが潰れるように密着させて建て込みます。このとき、抜け止めのために、ベースポールの下部の穴には別途用意した鉄筋や寸切りボルト等を挿してください。



ヒント



あらかじめベースポールの位置に基礎ブロック（180×180×H600）を埋めこんでおくと、施工が楽になります。



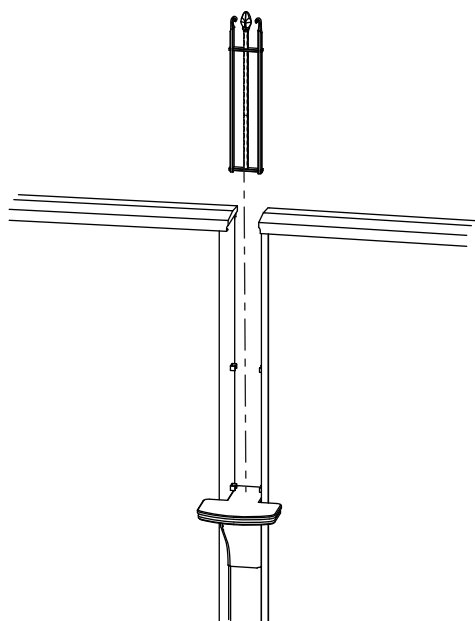
・ウォールC、Dは裏表を考慮して施工してください

4

取付金具でスリットフェンスA ショートタイプを挟み込むように、挿入します。

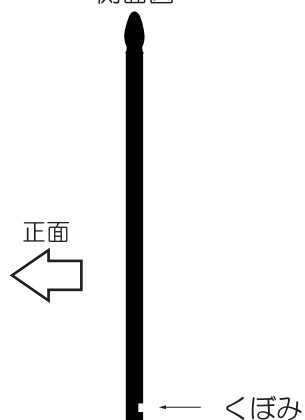
使用部材
スリットフェンスA ショートタイプ

名 称	数 量
スリットフェンス本体	1 / 1



・足元にくぼみがある方が裏側
(後の工程で止めねじを締める側)
になるように挿入してください。

側面図



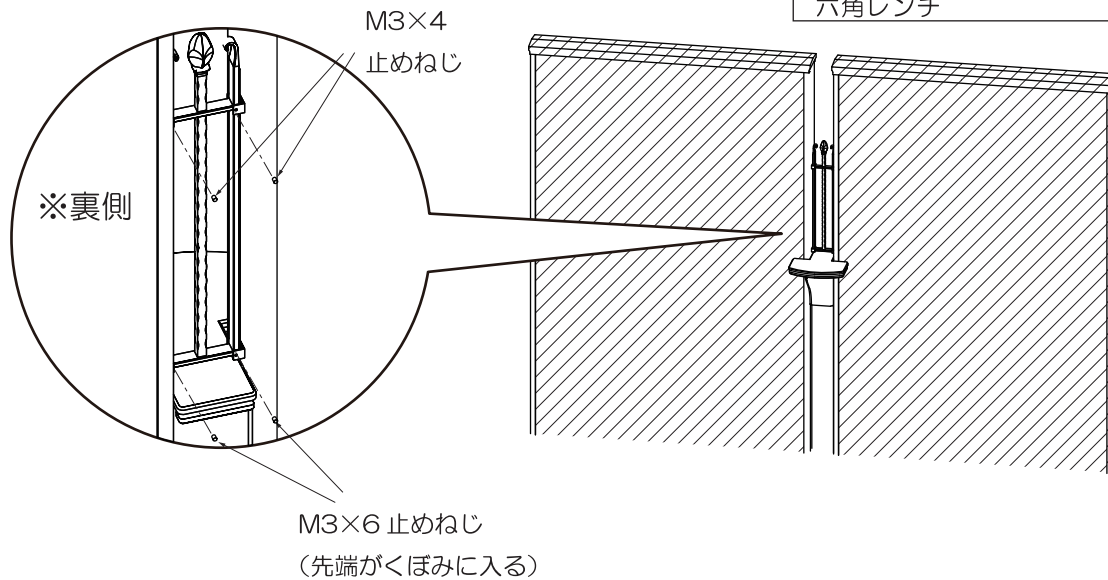
次ページへ

5

スリットフェンス A ショートタイプの足元のくぼみの位置に下側の取付金具のタップ穴が来るように位置を調整し、M3 止めねじで固定します。

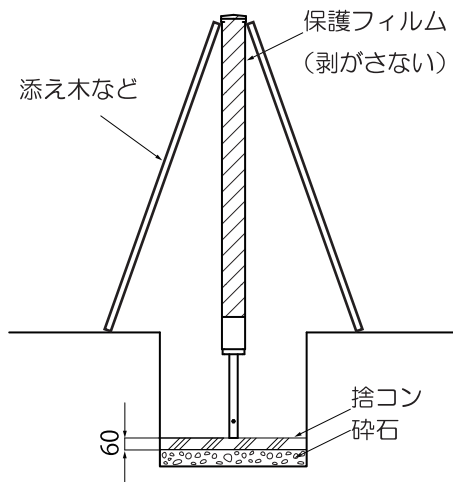
使用部材 スリットフェンスA ショートタイプ

名 称	数 量
M3×4 止めねじ	4 /8
M3×6 止めねじ	4 /8
六角レンチ	1 /1



6

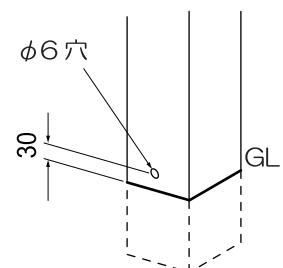
添え木などを当てて水平と垂直を出し、ウォールの高さを調整します。



- ・添え木を当てる際は、布などを挟み、製品に傷がつかないようにしてください。
- ・ウォールDを施工する際は、特にねじれや歪みに注意し、左右の扉枠が平行になるようにしてください。

7

ウォールの水平、垂直を確認し、コンクリートを打ちます。
埋め込み完了後、シェルフティンバー A のG L 上 30mm の位置に、
φ6 程度の水抜き穴を設けてください。
コンクリートが硬化してから、丁寧に保護フィルムを剥がしてください。

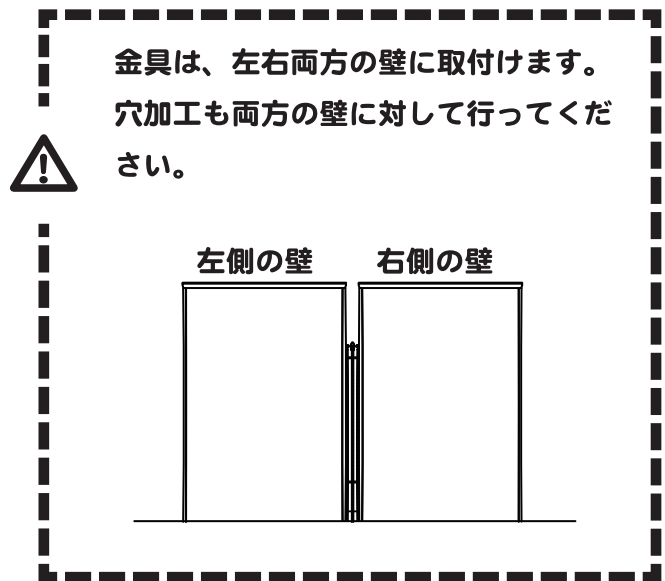
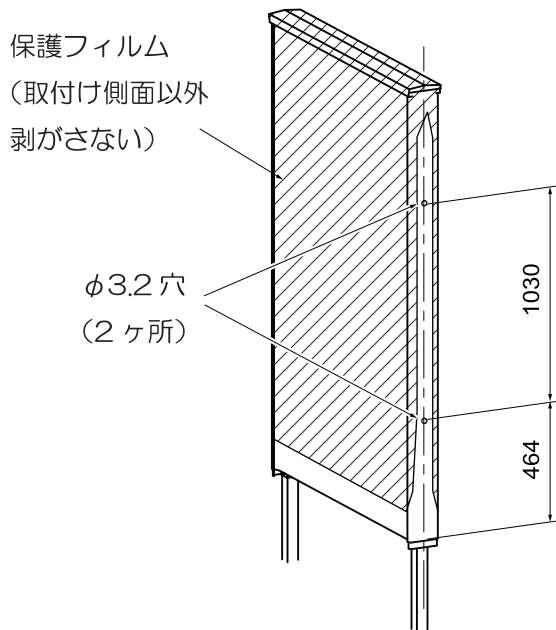


E-2-2. シェルフティンバーとスリットフェンスA
ショートタイプを使用した施工 終

E-3 スリットフェンスAを使用した施工

■ 施工手順

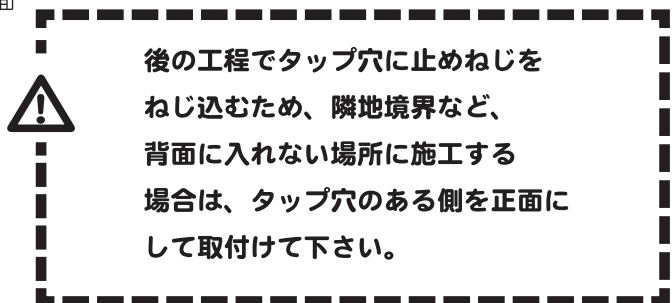
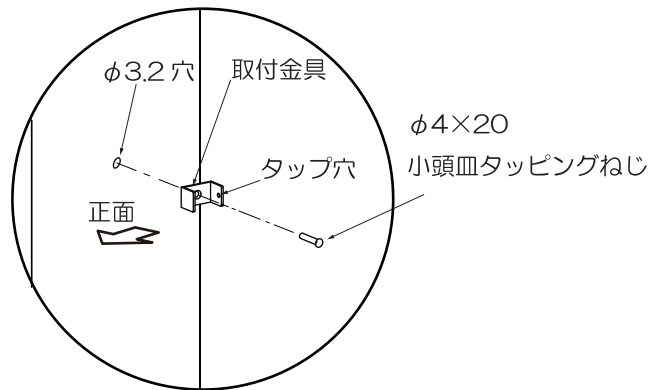
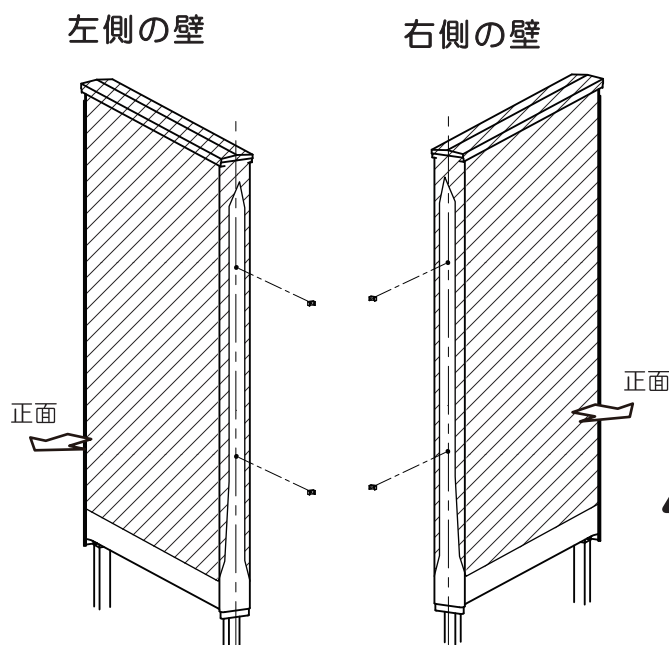
- スリットフェンスを使用する際は、ウォールの埋め込み前に金具を取付けます。
取付けるウォールの側面の保護フィルムを一部切抜き、下図の通りφ3.2 の下穴を開けてください。



- φ4 小頭タッピングねじで、下穴の位置に
取付金具を取付けます。
タップ穴がある方が背面になるように
取付けてください。

使用部材 スリットフェンスA

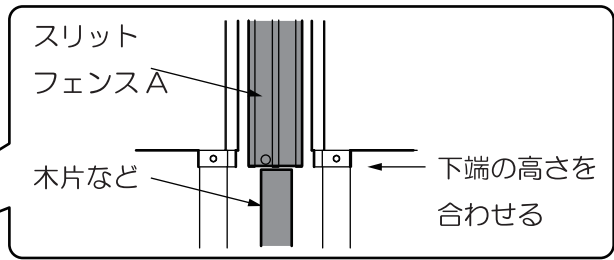
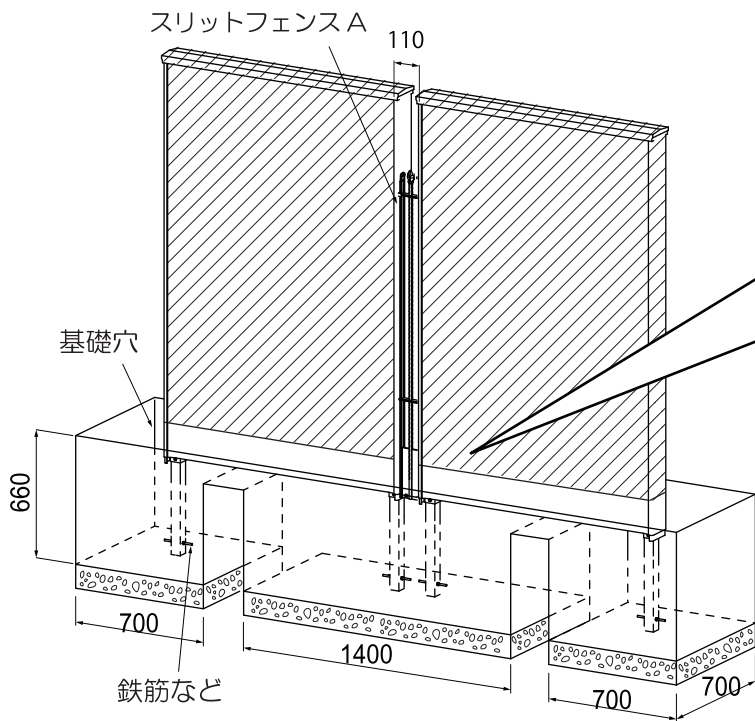
名 称	数 量
取付金具	4 / 4
φ4×20 小頭皿タッピングねじ	4 / 4



- 3 基礎寸法図以上の寸法の基礎穴を設け、スリットフェンスを取付金具の間に挟むように左右のウォールを建て込みます。スリットフェンスの下に木片を置くなどして、ウォールとの下端の高さをあわせてください。このとき、抜け止めのために、ベースポールとスリットフェンス下部の穴には別途用意した鉄筋や寸切りボルト等を挿してください。

使用部材
スリットフェンスA

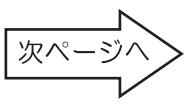
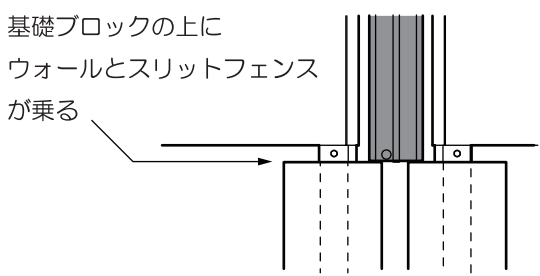
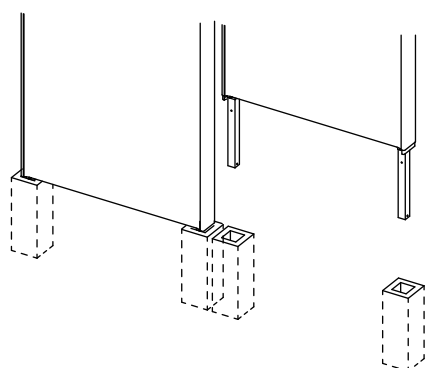
名 称	数 量
スリットフェンス本体	1 / 1



E-3

ヒント

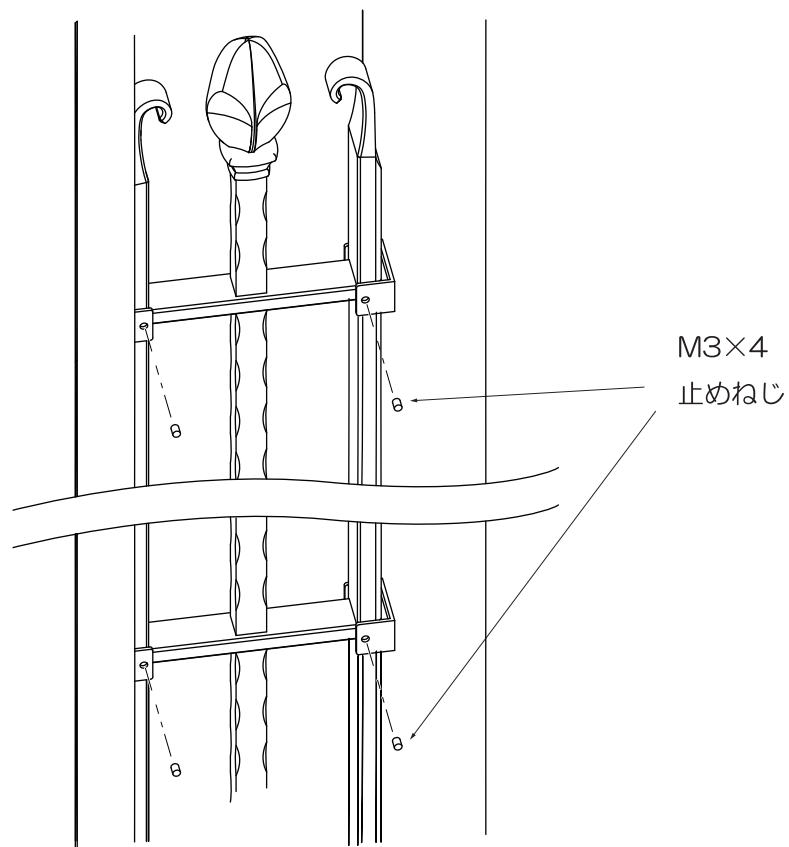
あらかじめベースポールの位置に基礎ブロック（180×180×H500）を埋めこんでおくと、施工が楽になります。



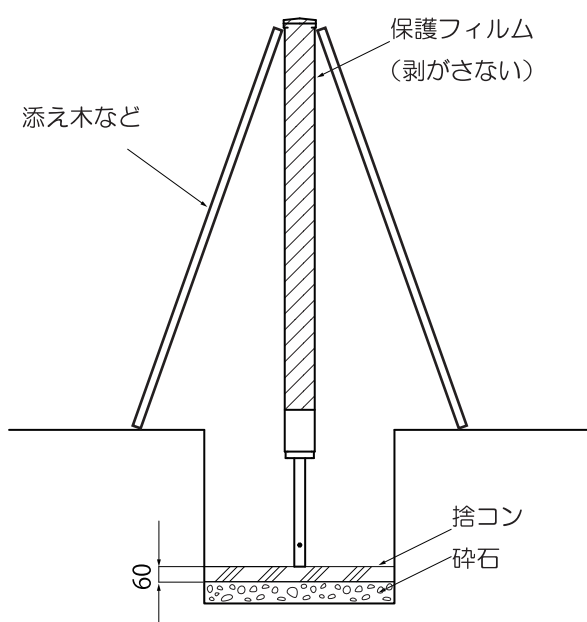
- 4 背面より、取付金具に六角レンチで M3 止めねじをねじ込み、フェンスを締めこみます。

使用部材
スリットフェンスA

名 称	数 量
M3×4 止めねじ	4 /4
六角レンチ	1 /1



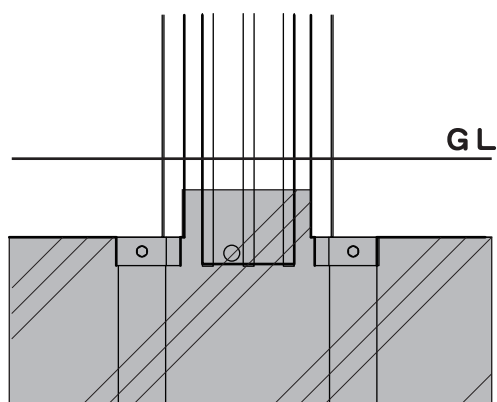
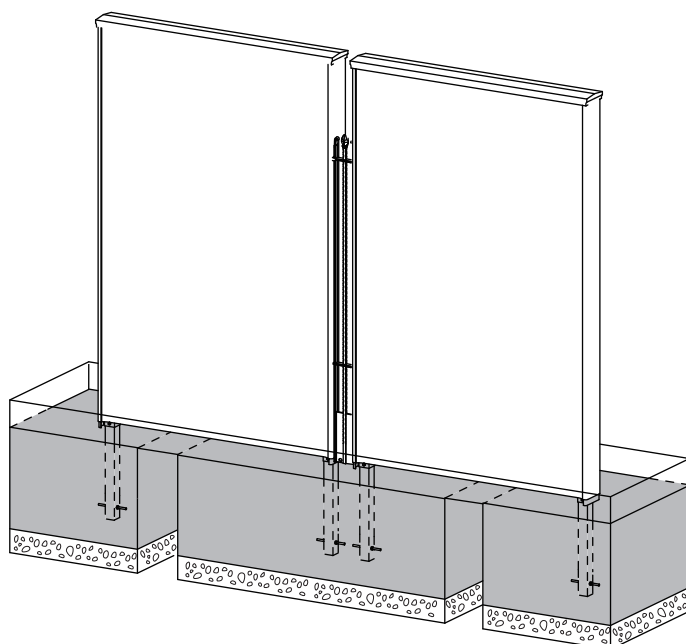
- 5 添え木などを当てて水平と垂直を出し、ウォールの高さを調整します。



- ・添え木を当てる際は、布などを挟み、製品に傷がつかないようにしてください。
- ・ウォールDを施工する際は、特にねじれや歪みに注意し、左右の扉枠が平行になるようにしてください。

6

ウォールの水平、垂直を確認し、コンクリートを打ちます。
コンクリートが硬化してから、丁寧に保護フィルムを剥がしてください。



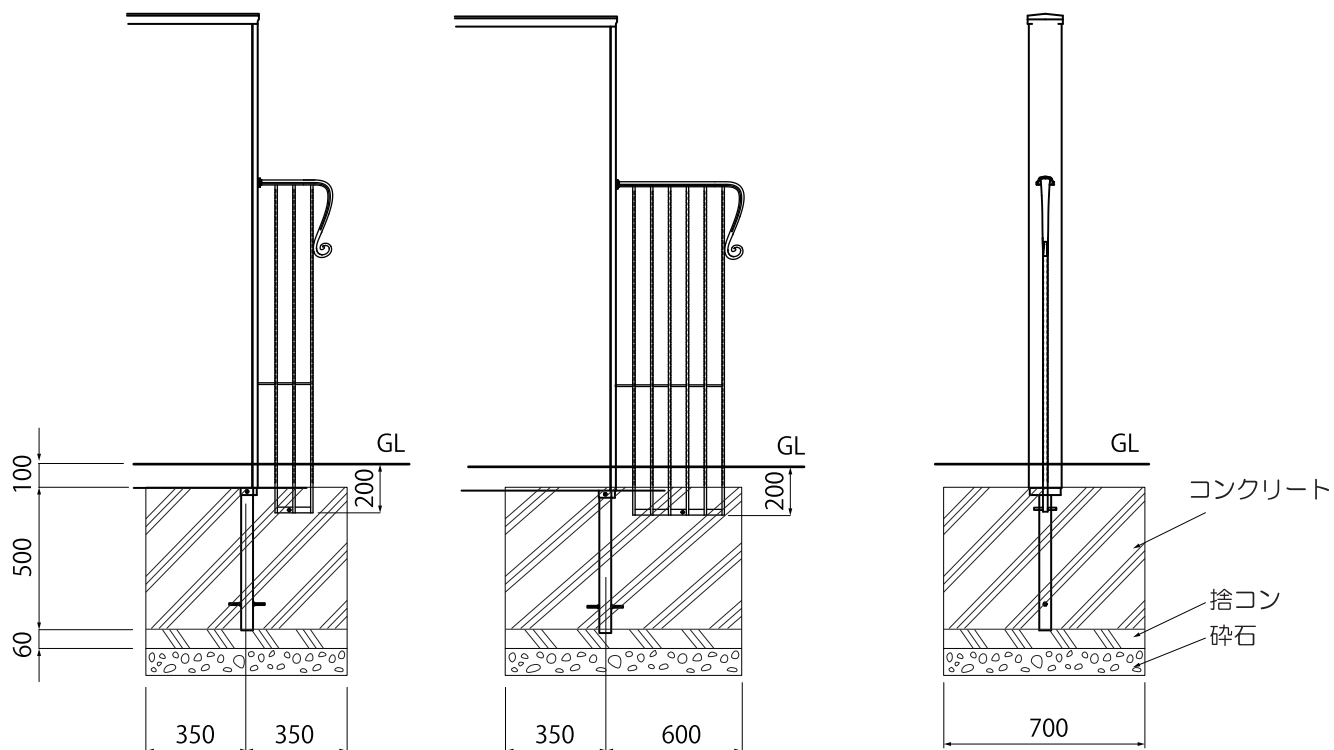
・強度を確保するため、スリット
フェンスAの足元にはコンクリート
を流し込んで固定してください。

E-3

F サイドフェンスを取付ける場合の施工

■基礎寸法（単位：mm）

サイドフェンスA サイドフェンスA ワイドタイプ 側面（共通）



■施工手順

F

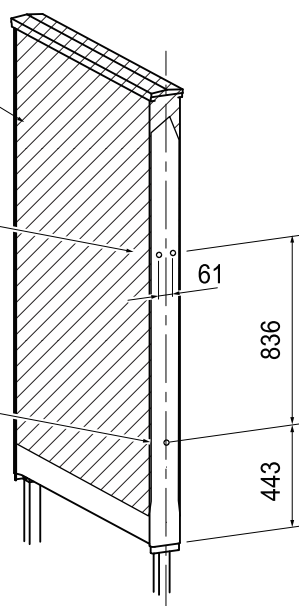
- 1 ウォールを埋め込む前に、サイドフェンスを取付けます。
取付けるウォールの側面の保護フィルムを一部切抜き、下図を参考に下穴を開けてください。

保護フィルム

（取付け側面以外
剥がさない）

φ4.2 穴
（2カ所）

φ6 くぼみ加工
（深さ3mm）

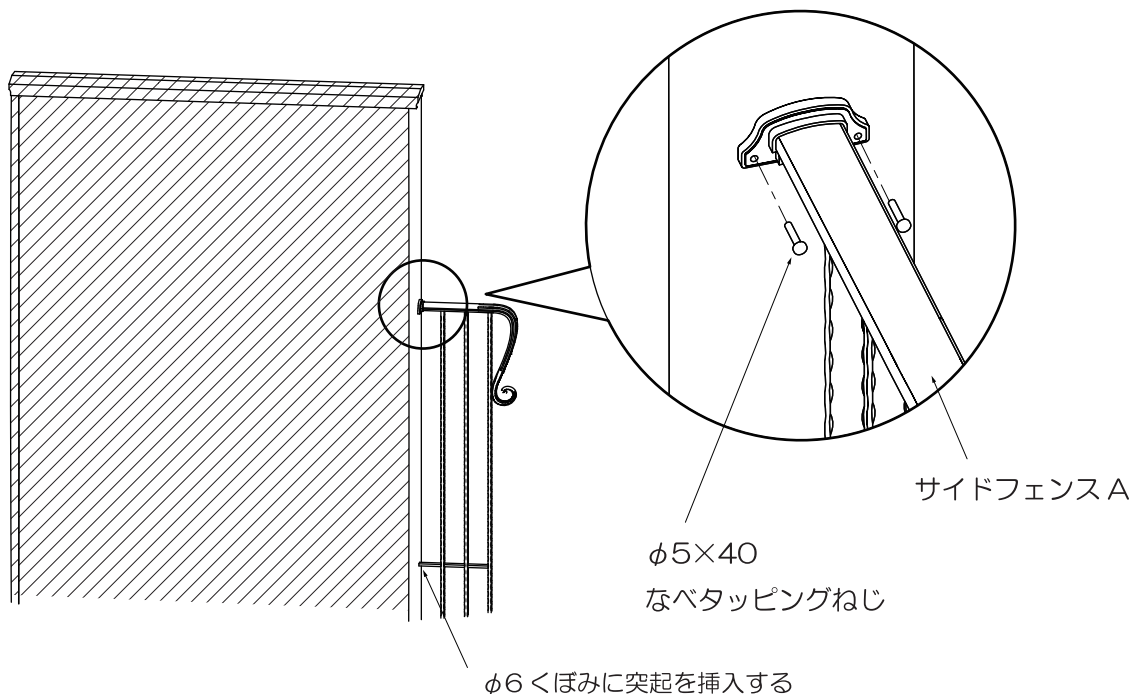


・図の寸法は参考数値です。実際の
穴位置は製品を実際に取付面に
あてて確認してください。

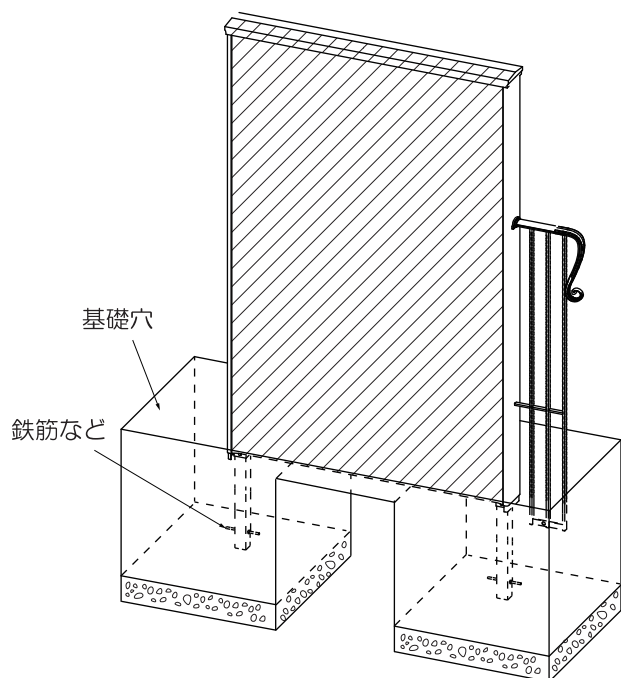
- 2 $\phi 5$ タッピングねじで、 $\phi 4.2$ 下穴の位置に
サイドフェンスをウォールに固定します。
 $\phi 6$ くぼみには、横桟端部の突起を挿入します。

使用部材
サイドフェンスA/ワイドタイプ

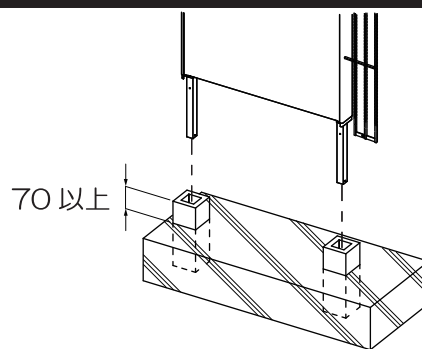
名 称	数 量
サイドフェンス本体	1 / 1
$\phi 5 \times 20$ なベタタッピングねじ	2 / 2



- 3 基礎寸法図以上の寸法の基礎穴を設け、ウォールとサイドフェンスを建て込みます。
このとき、抜け止めのために、ベースポール下部の穴には別途用意した鉄筋や寸切りボルト等を
挿してください。



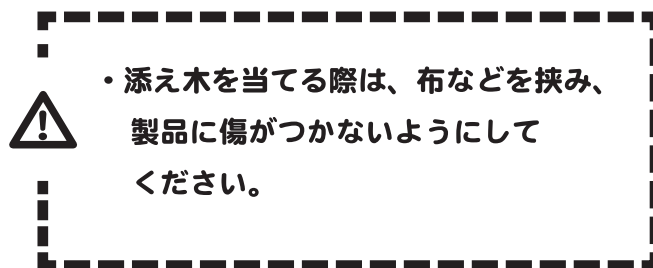
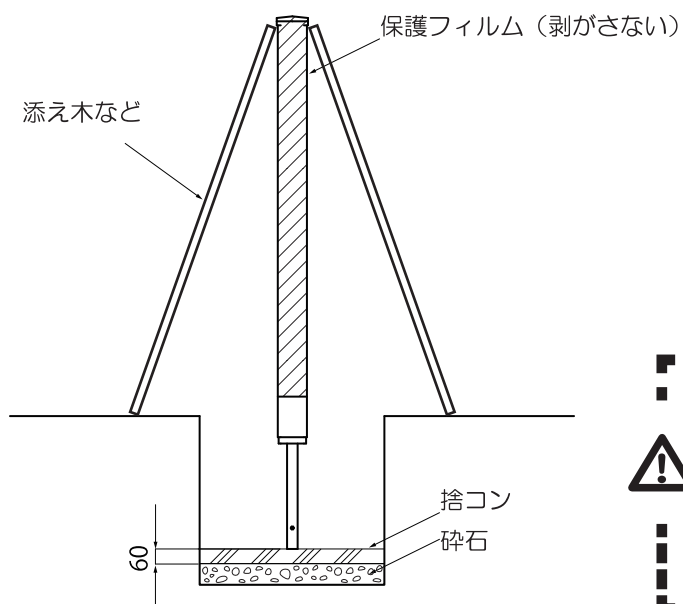
ヒント



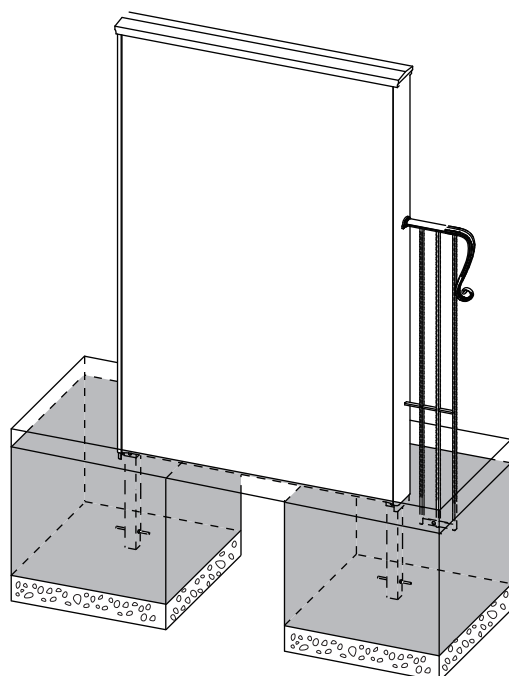
あらかじめベースポールの位置に基礎
ブロック（ $180 \times 180 \times H500$ ）を
埋めこんでおくと、施工が楽になります。
※フェンスを埋め込む深さは確保して
ください。

次ページへ

4 添え木などを当てて水平と垂直を出し、ウォールの高さを調整します。



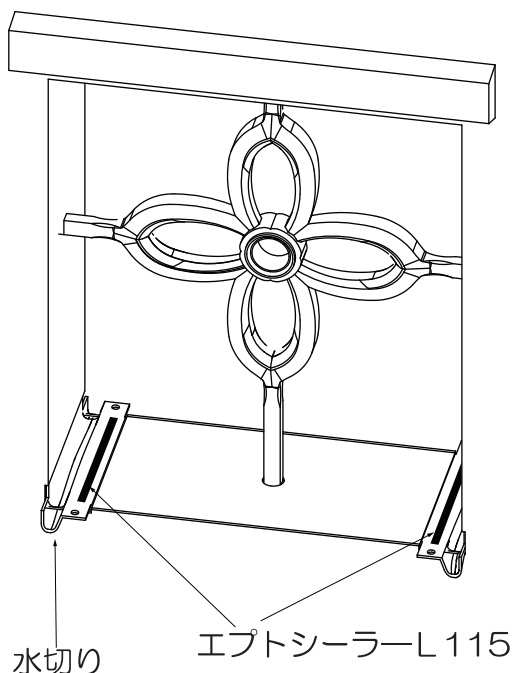
5 ウォールの水平、垂直を確認し、コンクリートを打ちます。 コンクリートが硬化してから、丁寧に保護フィルムを剥がしてください。



G ウォールBへの窓台Sの取付け

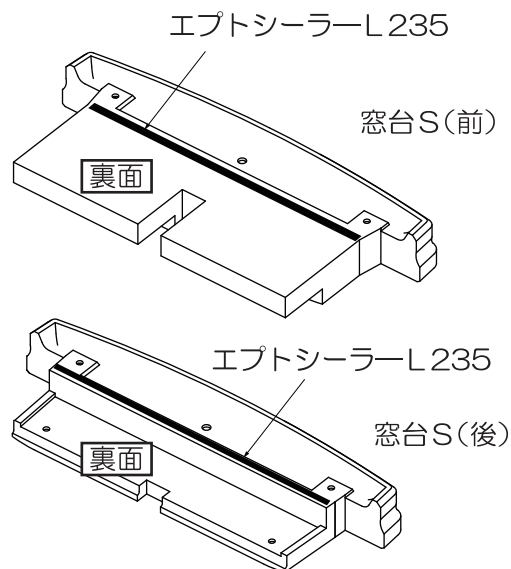
■ 施工手順

- 1 ウォールBの水切り部分および窓台S(前)(後)の裏側に、エプトシーラーを貼付します。



使用部材 窓台Sセット

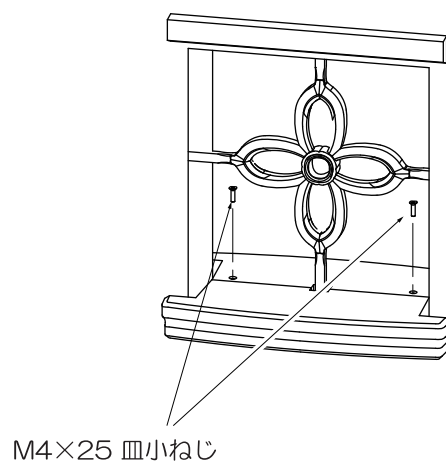
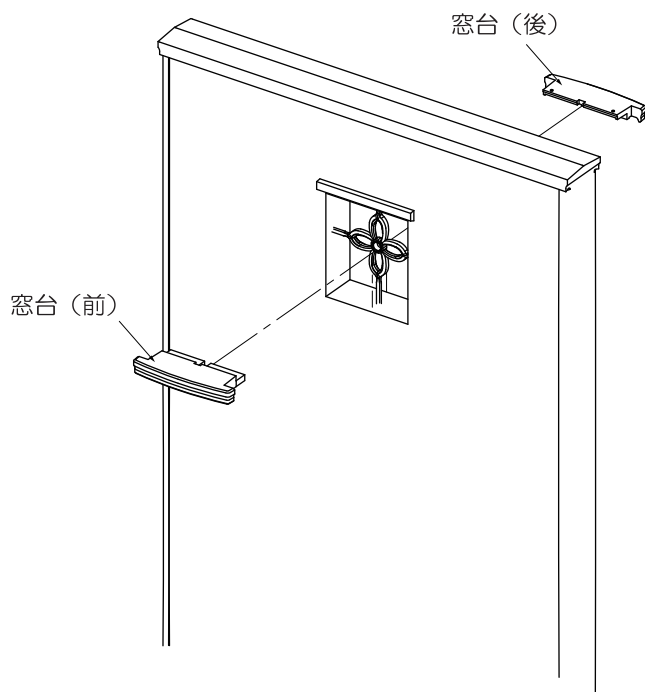
名 称	数 量
窓台S 前	1 /1
窓台S 後	1 /1
エプトシーラー L235	2 /2
エプトシーラー L115	2 /2



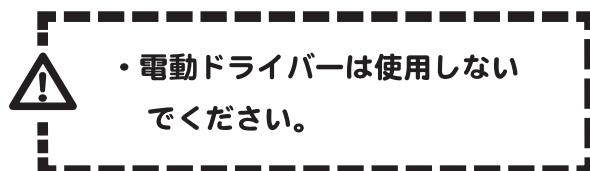
- 2 窓台S(前)、窓台S(後)を設置し、M4 皿小ねじで窓台S同士を固定します。

使用部材 窓台Sセット

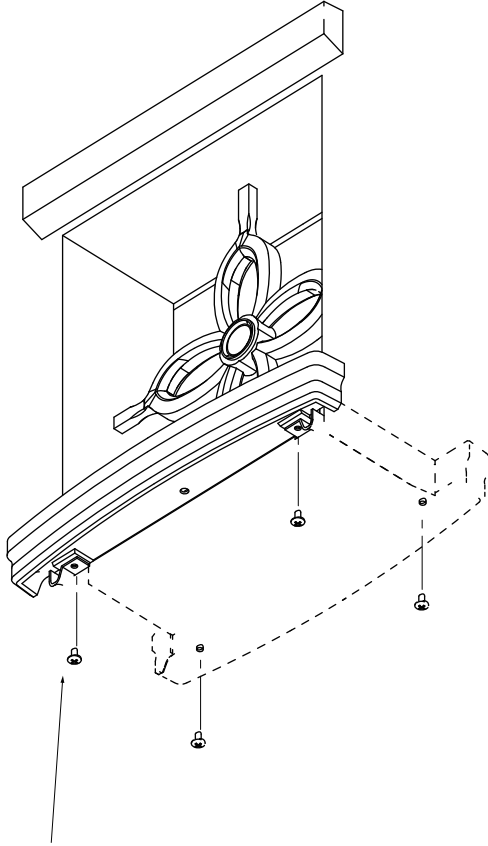
名 称	数 量
M4×25 皿小ねじ	2 /2



M4×25 皿小ねじ



- 3 ウォールBの水切り部分に対し、M4 トラス小ねじで窓台Sを固定します。



M4×10 トラス小ねじ

使用部材
窓台Sセット

名 称	数 量
M4×10 トラス小ねじ	4 /4



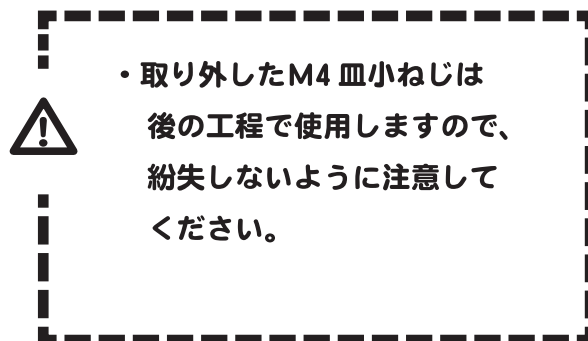
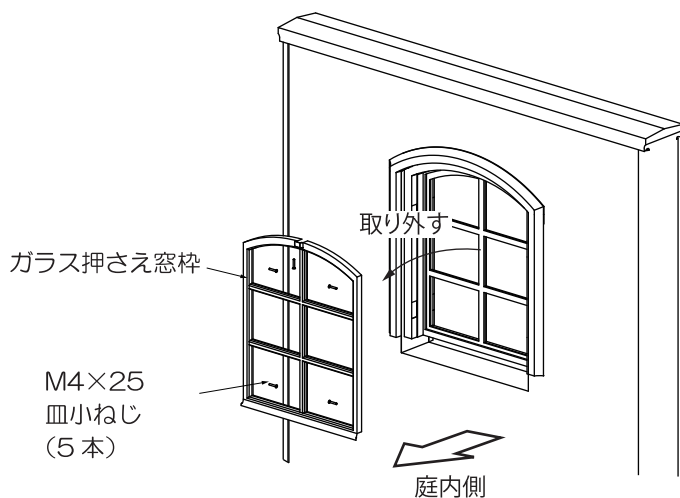
・電動ドライバーは使用しないでください。

G

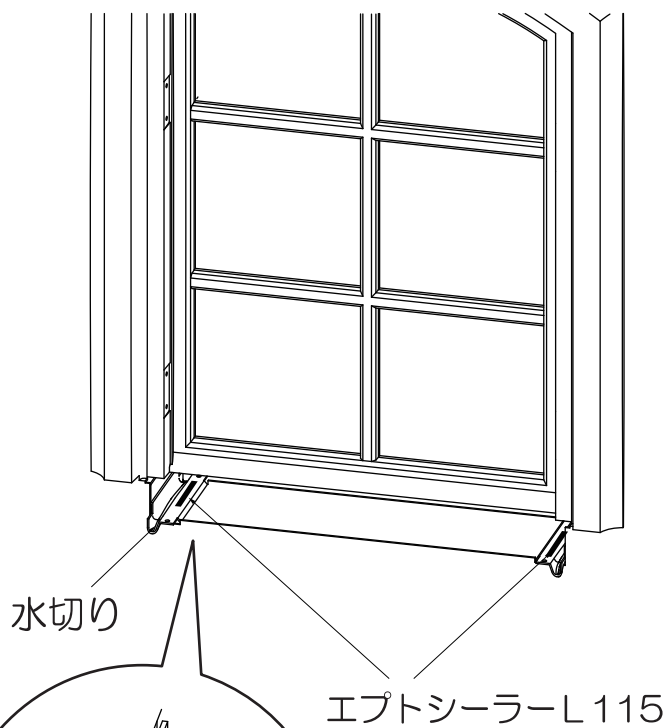
H ウォールCへの窓台、ガラスの取付け

■ 施工手順

1 ウォールCから、ガラス押さえ窓枠を一旦取り外します。

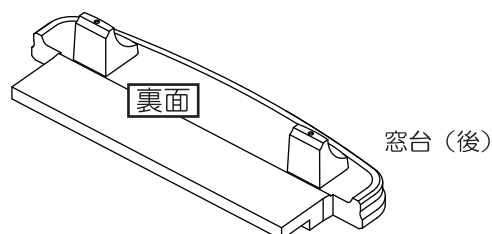
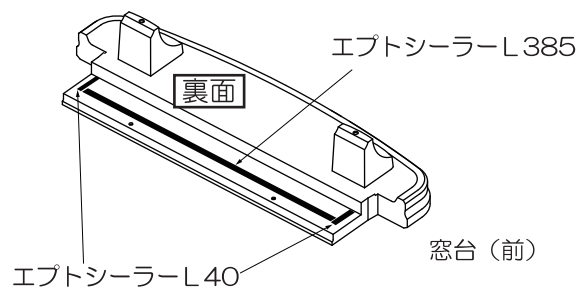


2 ウォールCの水切り部分と窓台（前）に、エプトシーラーを貼付します。



使用部材 窓台セット

名 称	数 量
窓台 前	1 / 1
窓台 後	1 / 1
エプトシーラー L385	1 / 1
エプトシーラー L40	2 / 2
エプトシーラー L115	2 / 2

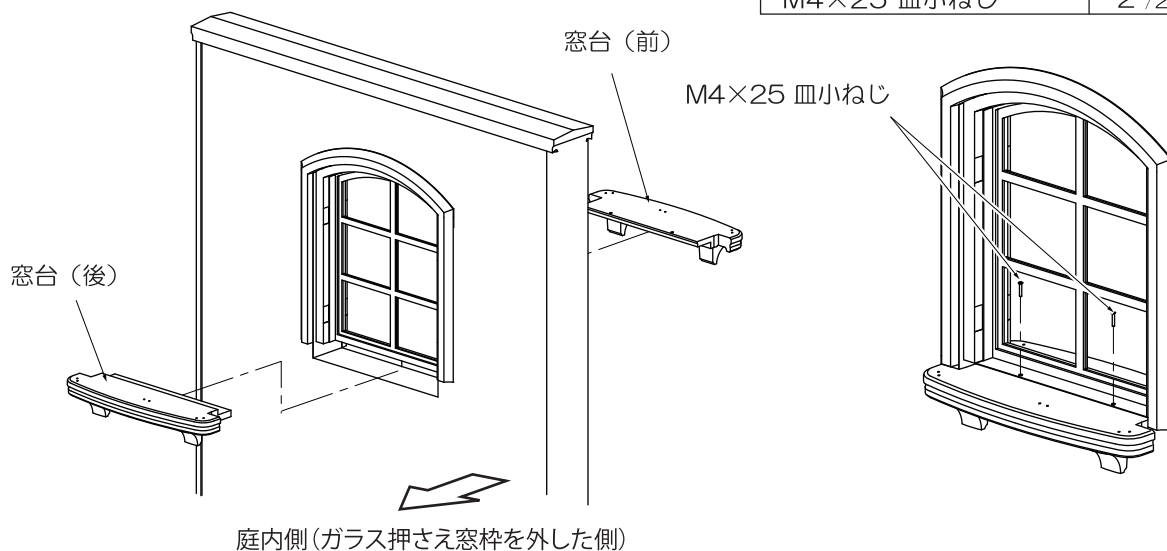


※窓台（後）には
エプトシーラーを貼らない

- 3 窓台（前）、窓台（後）を設置し、窓台に付属している
M4 皿小ねじで、窓台同士を固定します。

使用部材
窓台セット

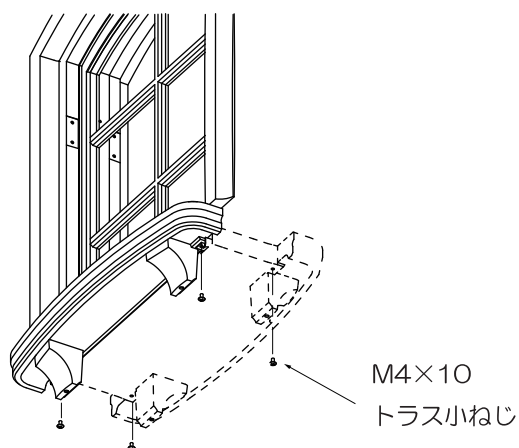
名 称	数 量
M4×25 皿小ねじ	2 /2



- 4 ウォールCの水切り部分に対し、M4 トラス小ねじで
窓台を下側から固定します。

使用部材
窓台セット

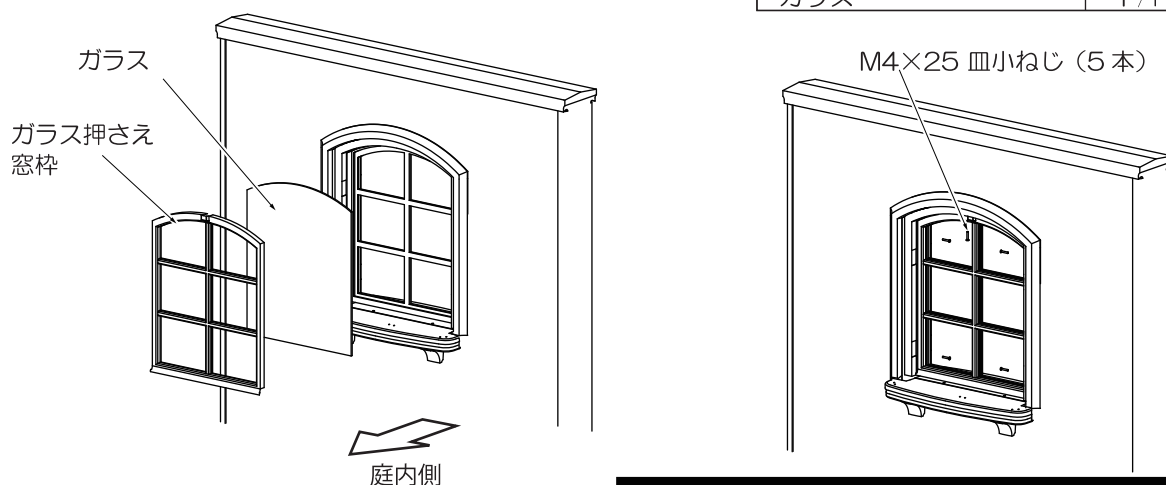
名 称	数 量
M4×10 トラス小ねじ	4 /4



- 5 1 で外したガラス押さえ窓枠を、間にガラスを挟んで
M4 皿小ねじで再度取付けます。

使用部材
ガラスセットA

名 称	数 量
ガラス	1 /1



H. ウォールC への窓台、ガラスの取付け 終



・ねじ留めには、電動ドライバーを使用しないでください。

I ウォールDへの扉の取付

■ 施工手順

- 1 錠・ハンドルセットに同梱されている説明書に従い、扉にラッチ錠とハンドルを取付けます。

使用部材

扉セットA

名 称	数 量
扉	1 / 1

片開きラッチ錠ハンドルセット右勝手用/左勝手用

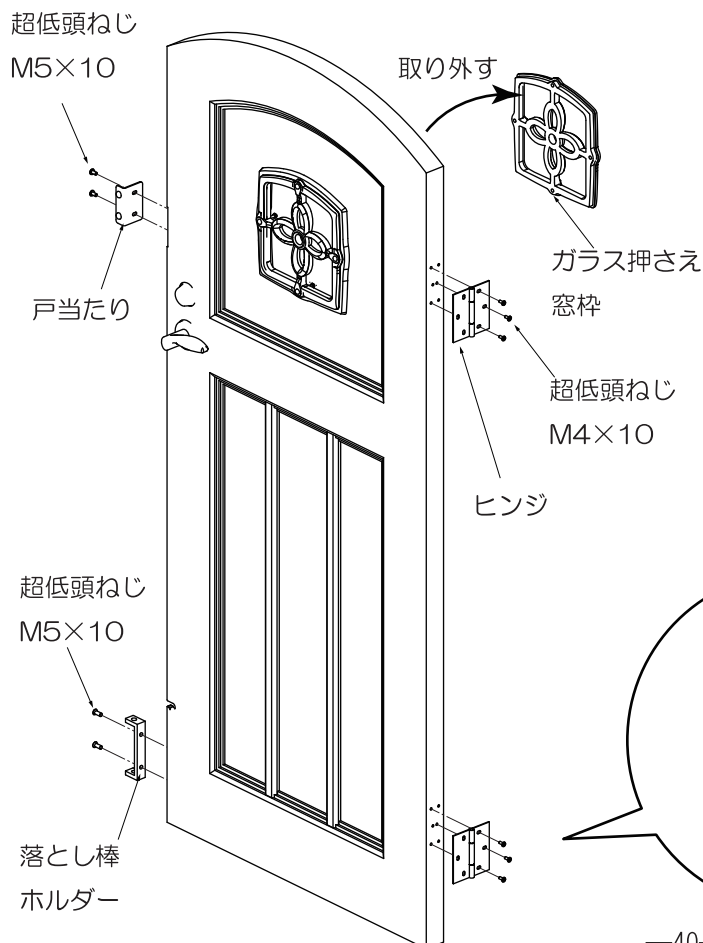
名 称	数 量
片開きラッチ錠ハンドルセット右勝手用/左勝手用	1 / 1

- 2 扉にヒンジ、戸当たり、落とし棒ホルダーを取付けます。また、ガラス押さえ窓枠を一旦取り外しておきます。

使用部材

扉部品セットA

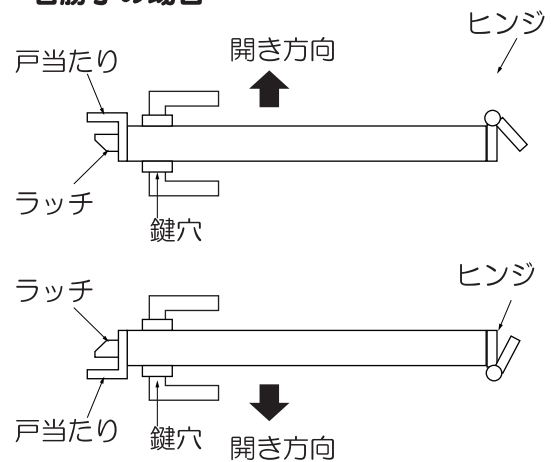
名 称	数 量
ヒンジセット	
ヒンジ	2 / 2
M4×10 超低頭ねじ	6 / 12
戸当たりセット	
戸当たり	1 / 1
M5×10 超低頭ねじ	2 / 2
落とし棒セット	
落とし棒ホルダー	1 / 1
M5×10 超低頭ねじ	2 / 2



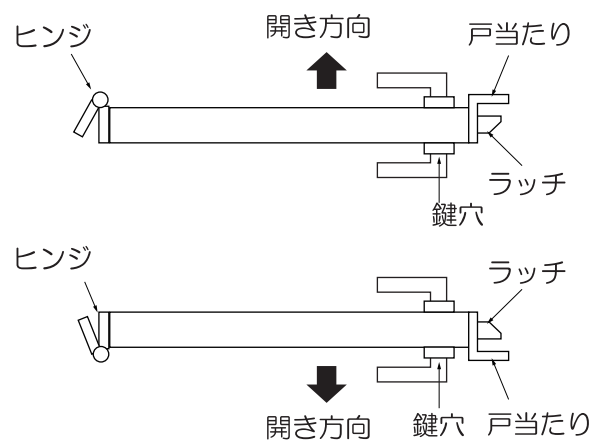
・ハンドルの右勝手 / 左勝手と開き方向によって、ラッチ、ヒンジ、戸当たりの取付け方向が変わります。

※以下は、扉を上から見た図

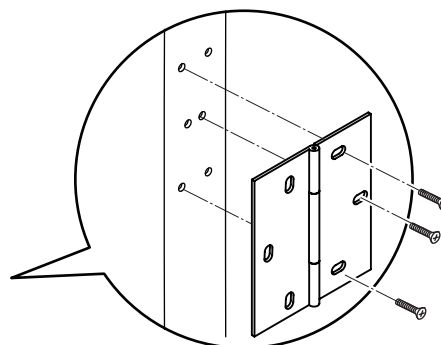
右勝手の場合



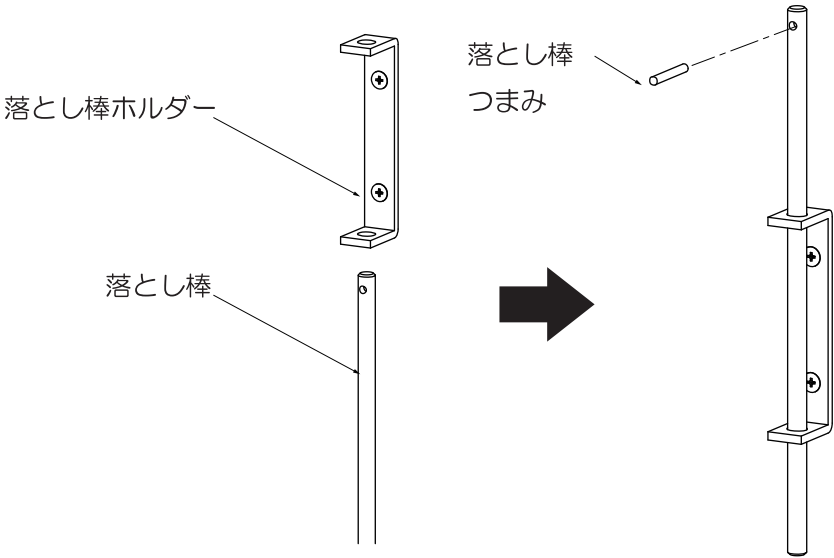
左勝手の場合



・電動ドライバーは使用しないでください。



3 落とし棒ホルダーに、落とし棒と落とし棒つまみを取付けます。



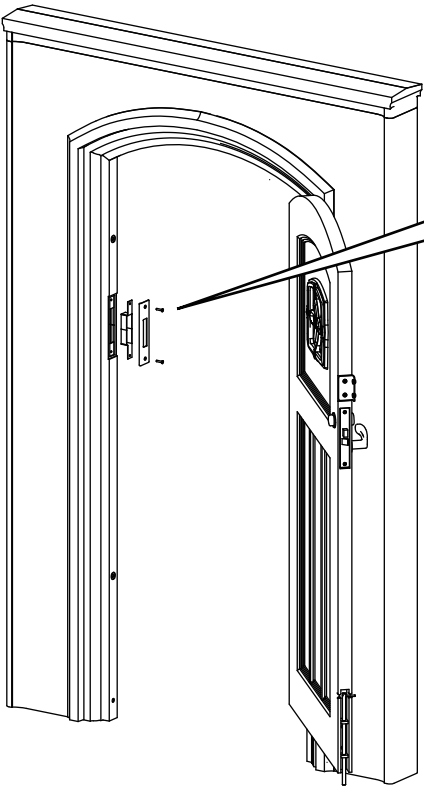
使用部材
扉部品セットA

名 称	数 量
落とし棒セット	
落とし棒	1 /1
落とし棒つまみ	1 /1

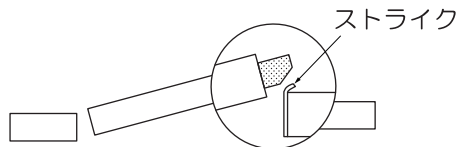
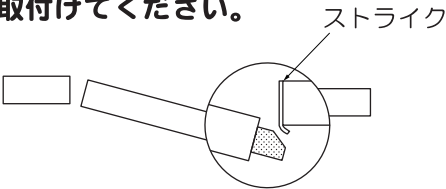
4 扉枠にストライクと箱受けを取付けます。扉の開閉方向に合わせて取付けてください。

使用部材
扉部品セットA

名 称	数 量
ラッチ受けセット	
ストライク	1 /1
箱受け	1 /1
M4×20 皿小ねじ	2 /2



・ストライクの折り曲げのある方が、開閉時にラッチに当たるように取付けてください。

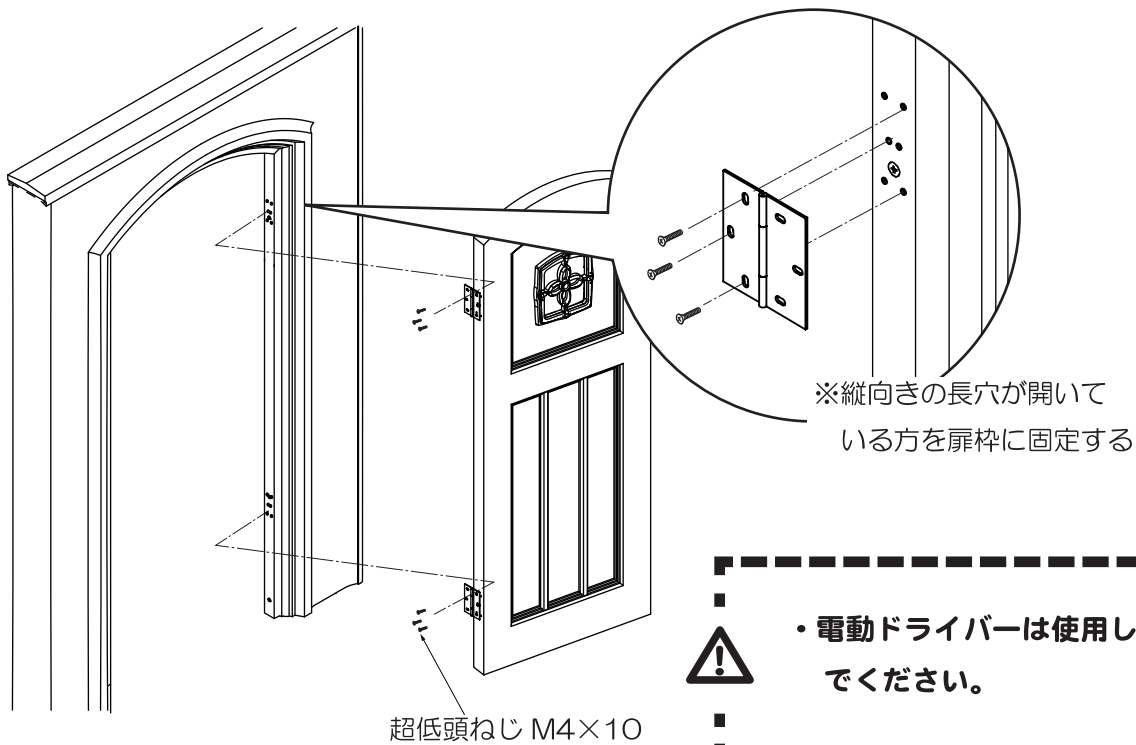


・電動ドライバーは使用しないでください。

4 扉をウォールDに吊り込みます。

使用部材
扉部品セットA

名 称	数 量
ヒンジセット	
M4×10 超低頭ねじ	6/12

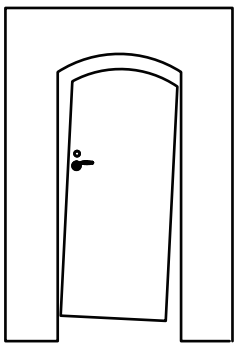


・電動ドライバーは使用しないでください。

5 扉のすき間を調整します。

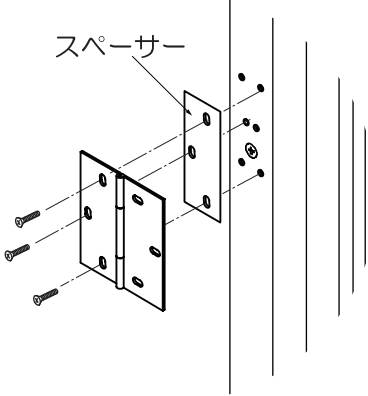
使用部材
扉部品セットA

名 称	数 量
ヒンジセット	
スペーサー	2/2



扉が左右に傾いたり、左右のすき間が均等でない場合

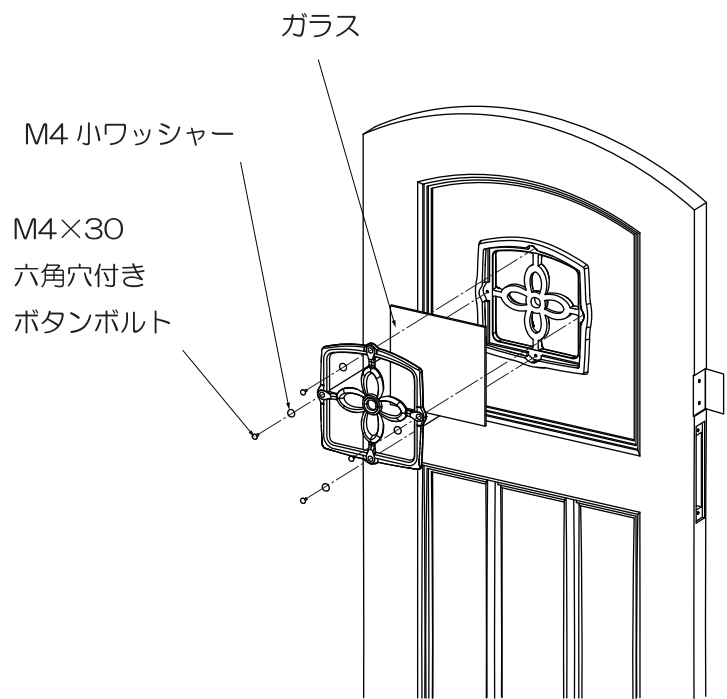
扉枠とヒンジの間にスペーサーを入れ、傾きとすき間間隔を調整します。



扉が前後に傾いたり、上のすき間が大きすぎる/小さすぎる場合

ヒンジを留めるねじを一旦緩め、長穴で前後左右の位置を調整して締めなおします。

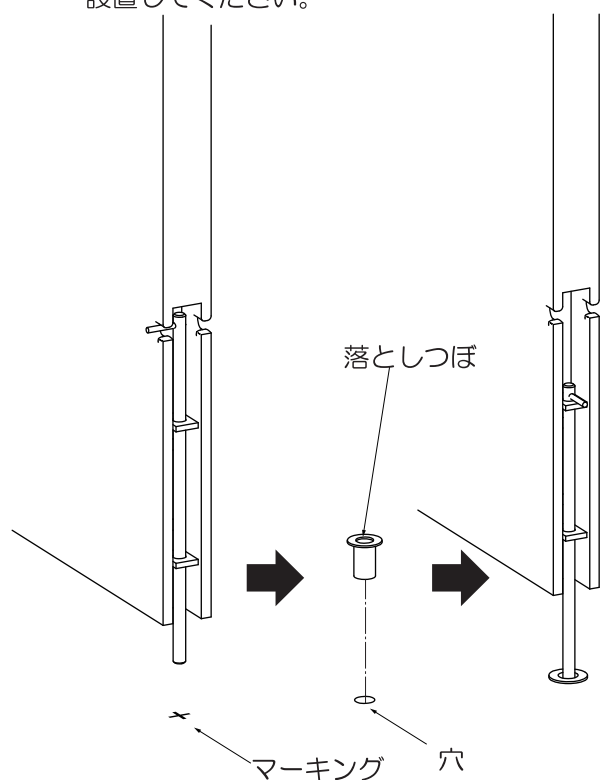
6 2で取り外したガラス押さえ窓枠を、間にガラスを挟んで
M4 六角穴付きボタンボルトで再度取付けます。



使用部材
扉部品セットA

名 称	数 量
ガラスセット	
M4×30六角穴付きボタンボルト	4 /4
M4小ワッシャー	4 /4
六角レンチ	1 /1

8 扉を開き、適当な位置に穴を開け、落としつぼを設置してください。

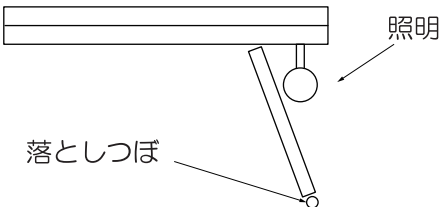


使用部材
扉部品セットA

名 称	数 量
落とし棒セット	
落としつぼ	1 /1



・フラワーハンガーや照明などの
アイテムを取付ける場合は、それら
を取付けてから、扉とアイテムが
干渉しない位置に落としつぼを設置
してください。

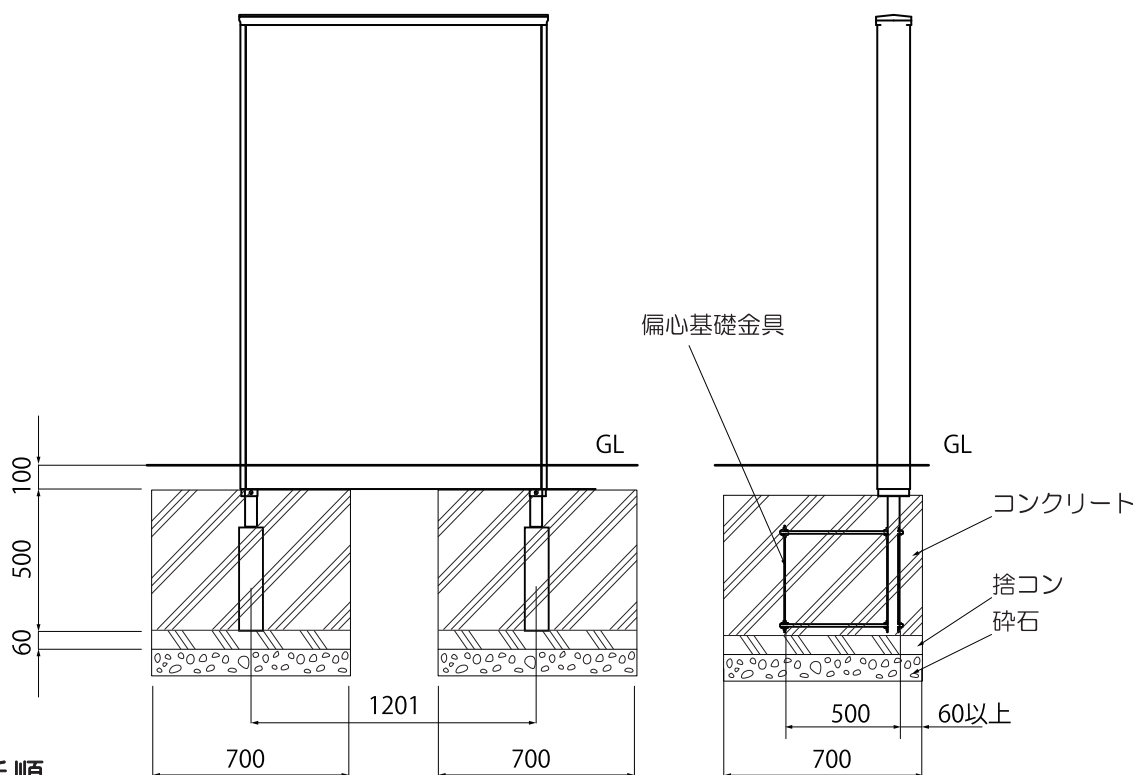


J 隣地境界への施工について

隣地境界など、敷地ギリギリにウォールを施工する場合は、
偏心基礎セットを用いて、下図のように基礎の端に寄せて施工します。

梱包明細：偏心基礎セット

名 称	数 量
偏心基礎金具	2
M12×490 長ボルト	4
M12 ナット	16
M12 ワッシャー	16



■ 施工手順

- ウォールに巻かれた保護フィルムの底部のみを剥がし、
底面よりベースポール A を挿入し、ナットと
ワッシャーで M12 長ボルトを固定します。

使用部材 ウォールA～D

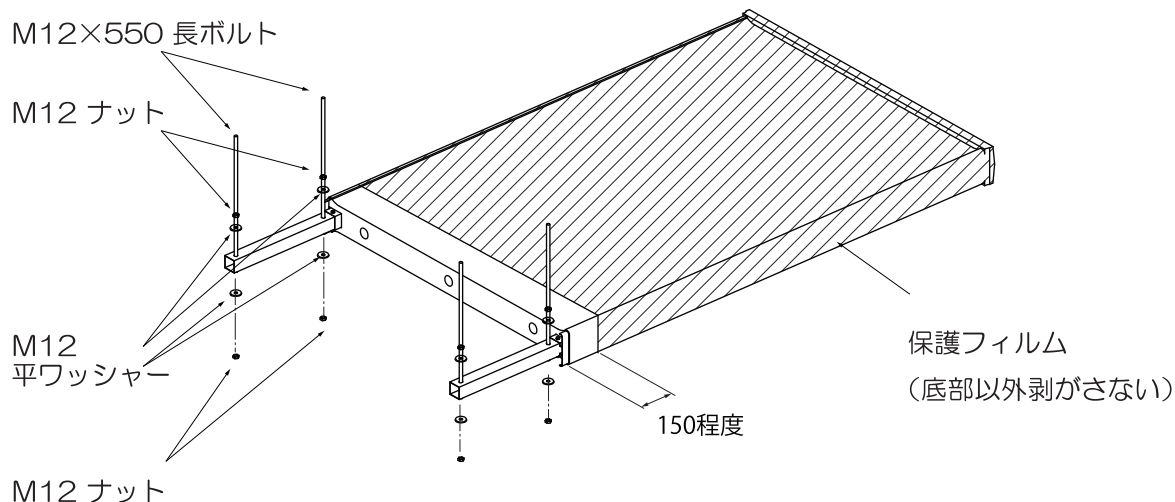
名 称	数 量
ウォール本体	1 /1

ベースポールセットA

名 称	数 量
ベースポールA	2 /2

偏心基礎セット

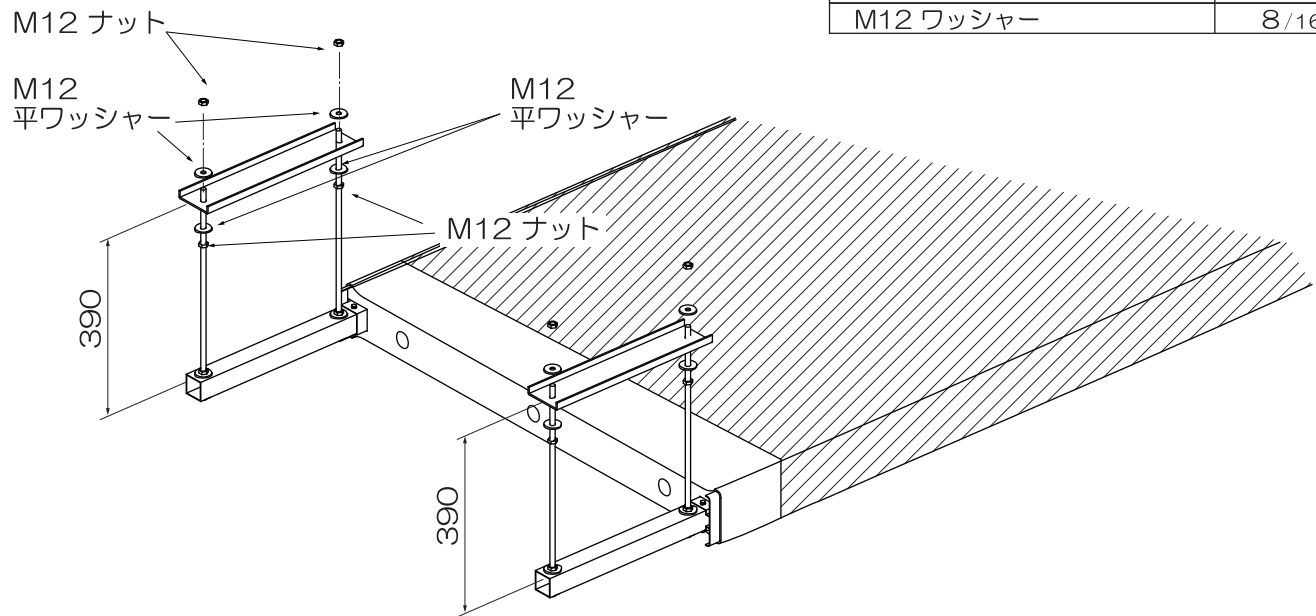
名 称	数 量
M12×490 長ボルト	4 /4
M12 ナット	8/16
M12 ワッシャー	8/16



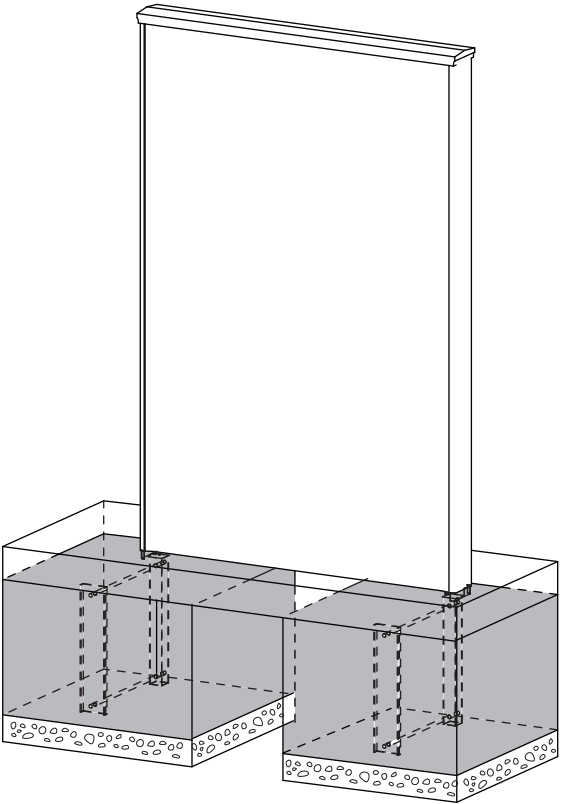
- 2 M12 長ボルトに対して、偏心基礎金具を両側からナットとワッシャーで固定します。

**使用部材
偏心基礎セット**

名 称	数 量
偏心基礎金具	2 /2
M12 ナット	8 /16
M12 ワッシャー	8 /16



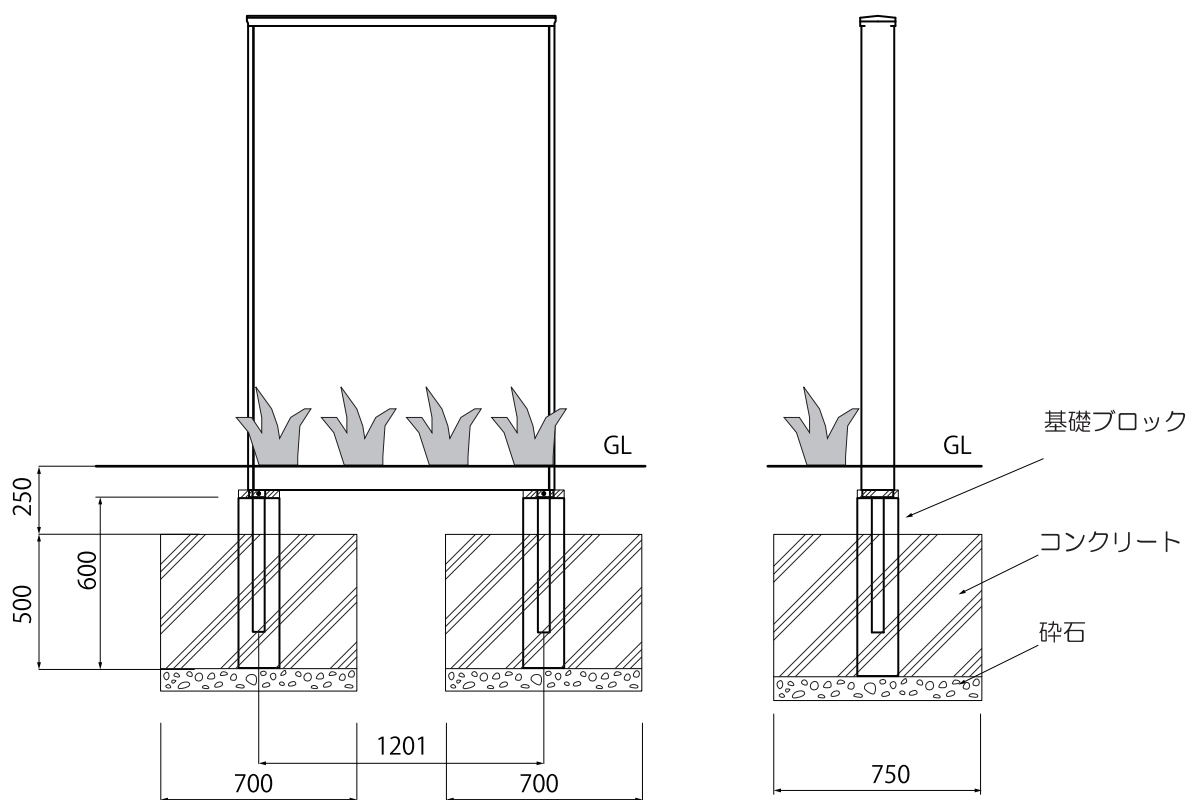
- 3 基礎寸法図以上の寸法の基礎穴を設け、ウォールを建て込んでコンクリートを打ちます。コンクリートが硬化してから、丁寧に保護フィルムを剥がしてください。



K ウォールの足元に植栽する場合の施工について

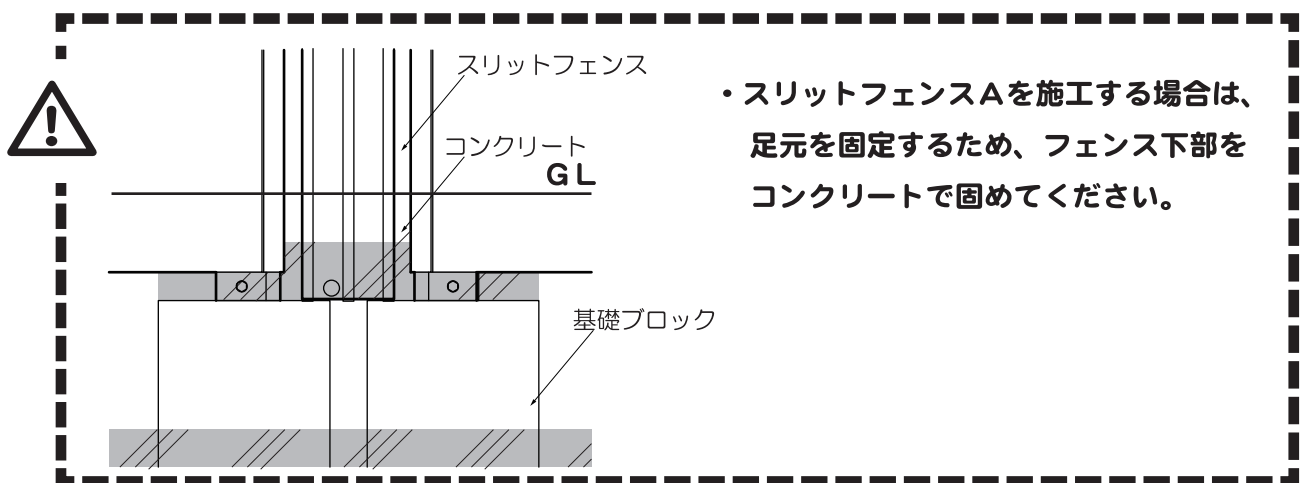
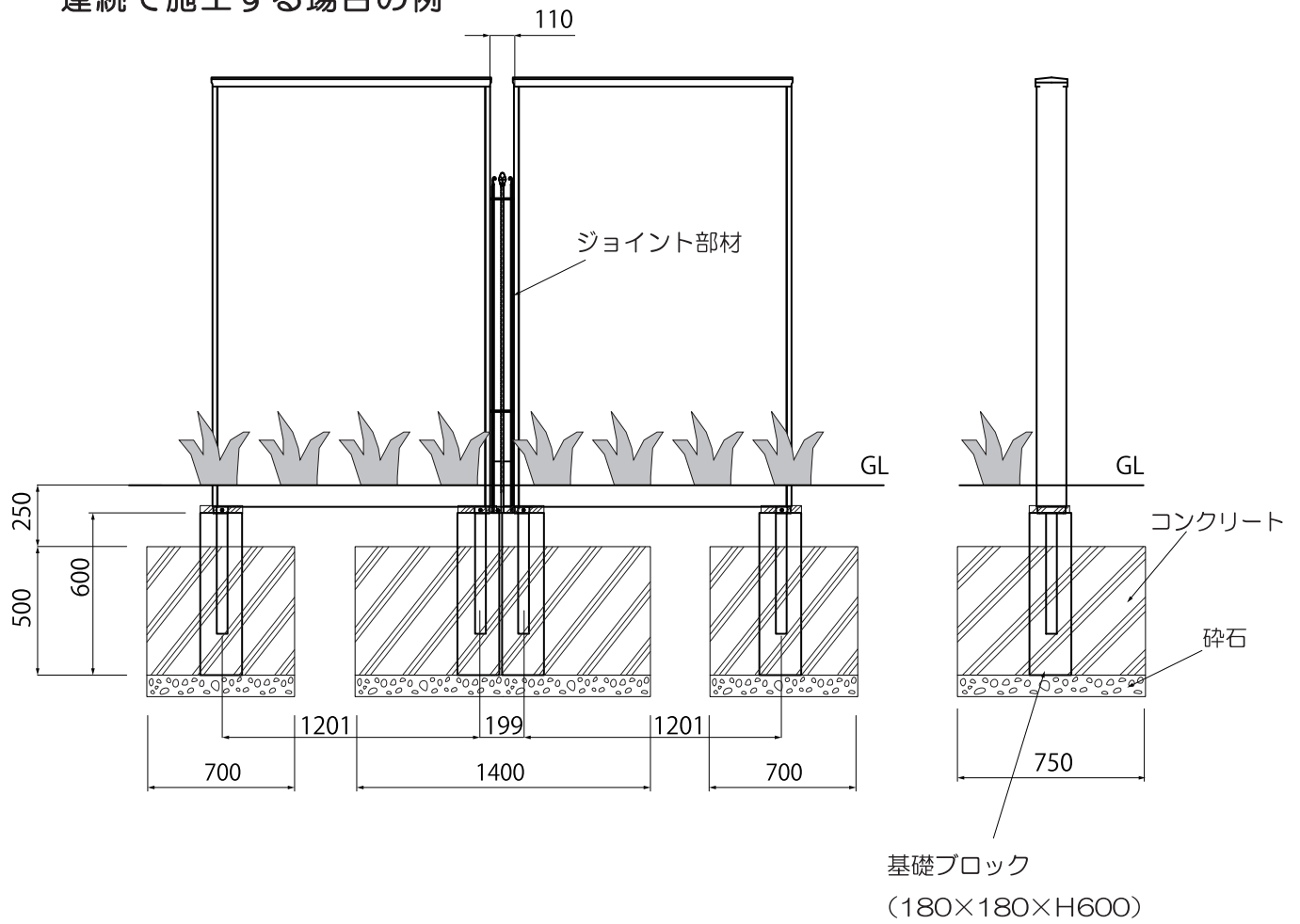
ウォールの足元に植物を植える場合は、土の深さを確保するため、
図を参考にし、基礎ブロックを用いて基礎を通常より地中深くに設けてください。

単独で施工する場合の例



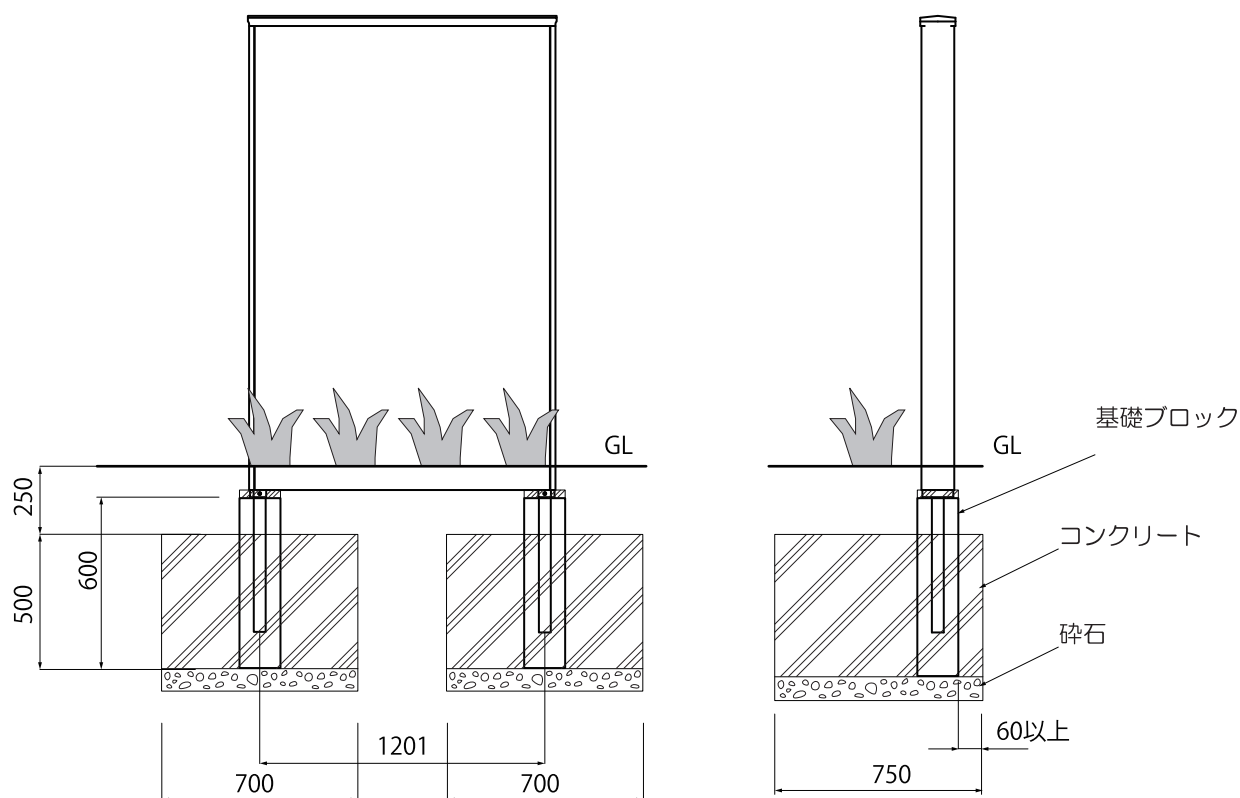
- ・製品保護のため、施工中は保護フィルムを剥がさないで下さい。
- ・コンクリートやモルタルに、塩分を含む砂のご使用は避けてください。また、
混和剤を用いる場合は、非塩素系または非アルカリ系のものをご使用ください。
- ・養生時間を十分に確保し、その間に振動や衝撃を与えないようにしてください。

連続で施工する場合の例



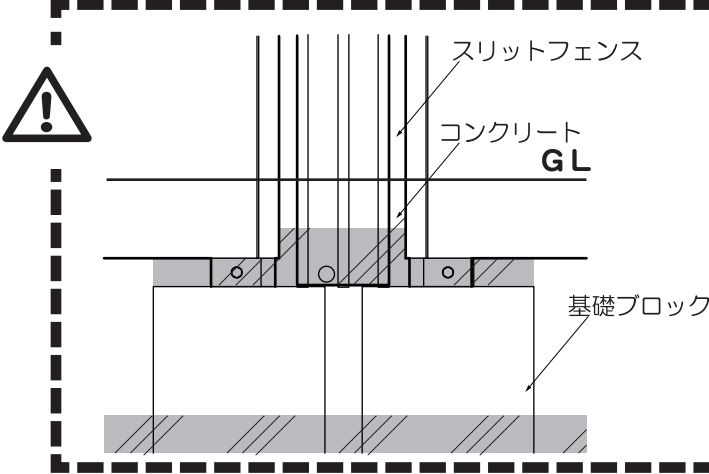
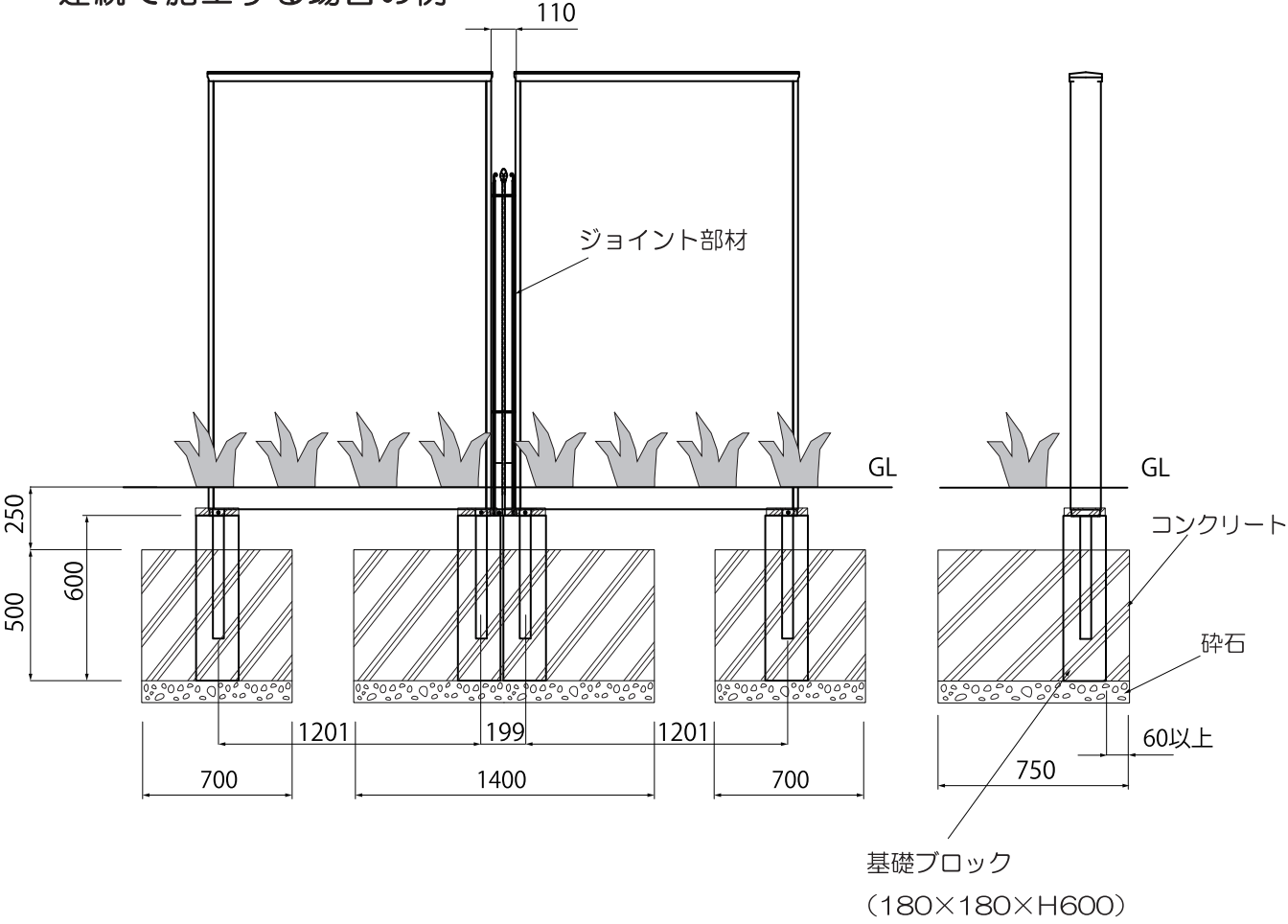
隣地境界等で植栽を施す場合は、基礎の端に寄せて施工してください。

単独で施工する場合の例



- ・製品保護のため、施工中は保護フィルムを剥がさないで下さい。
- ・コンクリートやモルタルに、塩分を含む砂のご使用は避けてください。また、
混和剤を用いる場合は、非塩素系または非アルカリ系のものご使用ください。
- ・養生時間を十分に確保し、その間に振動や衝撃を与えないようにしてください。

連続で施工する場合の例



・スリットフェンスAを施工する場合は、足元を固定するため、フェンス下部をコンクリートで固めてください。

K

工事店様へ

- 改造、変更はしないでください。
- 取付け終了後、確実に固定されていることをご確認ください。



〒601-8317 京都市南区吉祥院新田貳ノ段町45
TEL 075-681-2891 FAX 075-662-1190
株式会社 傳來工房

DPA-IM1
2018.04A